

枚方市障害者計画(第4次)の令和3年度進捗状況一覧

資料1

※今後の方向について

拡充: 取組を発展・拡充させる **現状維持:** これまでの取組を継続する
見直し: 取組の手法や、要件、対象、事業規模などを見直す
終了(完了): 事業目的を達成した取組
終了(休止): 課題等があり、事業を中止している取組

1. 市民啓発及び地域との交流の推進

1 多様な啓発の推進

計画			令和3年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 人権・人命の尊重	人権政策 室	人権尊重のまちづくりへの総合的取り組み	人権尊重の理念の浸透と障害者への差別をはじめ、あらゆる差別の撤廃に向け、啓発や学習を進めていきます。	人権尊重のまちづくりを実現するために、枚方市人権まちづくり協会へ委託し、講座「生きること」、人権文化セミナー、人権週間事業及び北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業を実施しました。	現状維持: これまでの取組を継続する
	児童生徒 支援課			①人権教育担当者を対象に研修会を実施しました。 令和3(2021)年11月22日(月曜日) テーマ わたしからはじめる部落問題学習 講師 一般社団法人大阪人権協会 柴原 浩嗣 さん ②例年、地域人材等の活用による職業講話、職業体験等を通して生徒は障害に関する理解を深めていますが、令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで職業体験をした学校もありましたが、実際に事業所等に赴く職業体験はありませんでした。 ③枚方市PTA協議会の中に子ども人権啓発委員会等を組織するとともに、家庭や地域との連携を深め、人権意識の高揚・啓発を積極的に推進しました。	現状維持: これまでの取組を継続する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しやくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) じんけん・じんめいの 尊重	じんじか 人事課	しよくいんけんしゆう じっし 職員研修の実施	しやうがい かん りかい ふか 障害に関する理解を深め るため、人権や障害に関 する職員研修を行いま す。また、手話研修など、 障害への認識を深める取 り組みを継続します。	しんにゆうしよくいん たいしやう けんしゆう 新入職員を対象とした研修において、障害者差別解消法に関する知識習得のため、担当部署の職員より説明を受ける機会を設けました。(64人参加) また、例年実施している車椅子や視覚障害のある方への誘導や案内方法の体験研修については、令和3年度の新入職員及び新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした令和2年度の新入職員を対象に7月に実施しました。 手話研修は公募により、講義「聴覚障害への理解」及び「手話演習」の全2回を実施しました。	げんじやういじ 現状維持： これまでの とりにくみ けいぞく 取組を継続 する
	しやうがいまかく 障害企画 か 課			しんにゆうしよくいん しょうがい かん りかい ふか けんしゆう おこな 新入職員に対し、障害に関する理解を深めるための研修を行ったほか、手話研 修や外部研修への参加等を行い、障害への認識を深める取り組みを実施しまし た。	げんじやういじ 現状維持： これまでの とりにくみ けいぞく 取組を継続 する
	しやうがいしえん 障害支援 か 課			しんにゆうしよくいん たい しょうがい かん りかい ふか けんしゆう おこな 新入職員に対し、障害に関する理解を深めるための研修を行いました。	げんじやういじ 現状維持： これまでの とりにくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(2) 虐待や差別の 防止	けんこう ふくし 健康福祉 そうごう そうだん 総合相談 か 課	しょうがいしゃ けんり しょう 障害者の権利擁 護と成年後見制度 の利用援助の充 実	ちてき しょうがいしゃ せいしんしょうがい 知的障害者、精神障害 者、認知症高齢者等の権 利擁護を図るために、成 年後見制度について、相 談を受け援助できる体制 を整備し、事業の充実に 努めます。	けんこうふくし そうごう そうだん か まどぐち かぐちいき ほうかつ しえん 健康福祉総合相談課窓口・各地域包括支援センターにて成年後見制度の相談 対応や制度申請時の書類作成の援助を行っています。市長申立ては11件行いま した。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課			れいわ ねん がつ 令和3年4月から、成年後見制度利用支援事業の対を拡大し、後見制度を利用 する生活保護等の低所得者が、より円滑に成年後見制度を利用できるよう支 援しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取組を継続 する
	けんこうふくし 健康福祉 せいさくか 政策課			しょうがいしゃ にんちしょうこうれいしゃ けんりょうご はか ちゅうかくきかん がつ 障害者や認知症高齢者の権利擁護を図るため、中核機関として、7月に「ひらか た権利擁護成年後見センター(こうけんひらかた)」を開設し、権利擁護に係る相 談窓口を集約化・明確化し関係団体間のネットワーク構築や、チームによる本人 支援体制の整備を進めています。	かくじゅう とりくみ 拡充：取組 を発展・拡 充させる

		けいかく 計画	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績		
しさをき 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しさをめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(2) 虐待や差別の 防止	けんこう ふくし 健康福祉 そうごう そうだん 総合相談 か 課	けんりようご 権利擁護のため の制度等の周知	せいねんこうけん せいど しゃかいふく 成年後見制度や社会福 祉協議会が実施してい る権利擁護のための取り 組みについて障害のある 人や家族への周知を図る とともに、広報、パンフレッ トの発行や窓口等におけ る情報を提供します。	けんこうふくし そうごう そうだん かまどぐち かくひらかたしちいきほまかつしえん 健康福祉総合相談課窓口・各枚方市地域包括支援センターにて相談に対応し、 ひつよう おう かんけいきかん しょうかい かんけいりりよう はいふ 必要に応じ関係機関の紹介、関係資料を配布しました。	げんじようじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課			せいねんこうけんせいど かん まどぐち ようい せいねんこうけんせいど しょうほう ひつよう 成年後見制度に関するパンフレットを窓口に着用し、成年後見制度の情報を必要 とされる市民に対し配布し、成年後見制度の仕組みや手続き等の情報提供を行 いました。	げんじようじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	けんこうふくし 健康福祉 せいさをか 政策課			しょうがいしや にんちしょうこうれいしや ちいきせいかつ ますき しゃかいふくしきようぎかい れんけい 障害者や認知症高齢者の地域生活を支えるため、社会福祉協議会と連携し、ひ らかた権利擁護成年後見センター(こうけんひらかた)や福祉サービス利用援助 事業の中で、成年後見制度や権利擁護のための取り組みについて周知を図りま した。	げんじようじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(2) 虐待や差別の防止	しょうがいしえん 障害支援 か 課	ぎやくたい たいおう 虐待への対応	しょうがいしゃ ぎやくたいぼうし 障害者への虐待防止の ため、障害者虐待防止セ ンターで、24時間365日体 制で相談・通報に対応し ます。関係機関と連携し、 虐待発見後の迅速、かつ 適切な対応を図ります。	へいせい ねん がつ しょうがいしゃぎやくたいぼうし ほう しこう ひらかたし しょうがいしゃぎやくたいぼうし 平成24年10月に障害者虐待防止法が施行され、枚方市障害者虐待防止セン ターを設置しています。相談・通報の電話受けは24時間365日で、その他市内7 か所の障害者相談支援センターの協力を得て、受付を行っています。また虐待の 防止、迅速な対応のため、関係機関との連携、情報共有の場として関係機関会 議を年1回開催しています。	げんじょうじ 現状維持： これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課	しょうがいしゃさべつかいしょう 障害者差別解消 ほう たいおう 法への対応	しょうがいしゃ たい さべつ か 障害者に対する差別の解 消に資する取り組みとし て、関係機関とネットワ ーク組織を構築し、情報の 収集および共有を図りま す。相談事案に対し、関 係機関や大阪府と連携 し、差別解消に向けた取 り組みを推進します。	しんがた かんせんしやう かんせんかくだい ひらかたししょうがいしゃさべつかいしょうしえんちいききょうぎ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、枚方市障害者差別解消支援地域 協議会の開催が難しい中、事務局会議において、相談事案の協議を行うとともに、 大阪府広域支援相談員と連携して相談事案に対応し、差別解消に向けた取 り組みを行いました。	げんじょうじ 現状維持： これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する

		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績			
しやく けいかく 施策の基 計画	しよかん 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	とく 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(3) 合理的配慮	じどうせいと 児童生徒 しえんか 支援課	しょうがいしゃ 障害者への理解 ふか を深める教育	しょう ちゅうがっこう 小・中学校においては、 がくねん あ 学年に合わせて、さまざま しょうがい かん しょうがいしゃ な障害に関する障害者 りかいきょういく すず 理解教育を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○冊子の作成・活用 さっし さくせい かつよう ひらかたしじんけんきょういくけんしゅうかい こうえんろく ・「枚方市人権教育研修会講演録」 ○資料の活用 しりょう かつよう ・「人権教育のための資料」(大阪府教育委員会) じんけんきょういく しりょう おおさかふ きょういくいんかい ・「学校における人権教育推進のための事例集」(大阪府教育委員会) がっこう じんけんきょういくすいしん じんけんきょういんかい おおさかふ きょういくいんかい ・「人権基礎教育指導事例集」(大阪府教育委員会) じんけんきょういく しどうほうとう あ かた だいいちじ ・「人権教育の指導方法等の在り方について」[第一次とりまとめ][第二次とりまと め][第三次とりまとめ](人権教育の指導方法等に関する調査研究会議) だいさんじ じんけんきょういく しどうほうとう かん ちようさけんきょうかいぎ ・「ともに学び、ともに育つ障害教育の充実のために」(大阪府教育委員会) まな そだ しょうがいきょういく じゅうじつ おおさかふ きょういくいんかい ・「精神障がいについて理解を深めるために」(大阪府教育委員会) せいしんしょう りかい ふか おおさかふ きょういくいんかい ○市立小中学校における主体的な取組 いちりつしょうちゅうがっこう しゅたいてき とりぐみ れいねん かき とお かくがっこう たいけんじっしゅう おこな 例年下記の通り、各学校で体験実習を行っています。令和3年度は新型コロナ ナウイラス感染症感染防止対策のため、実施できなかった体験実習・学習会が ありました。 しかくしょうがい しんたいしょうがい かん さんかたいけんがた けんしゅうかい たいけん くるま た ・視覚障害や身体障害に関する参加体験型の研修会(アイマスク体験、車いす体 験)の実施 いけん じっし ・盲導犬に関する講話の実施 もうどうけん かん こうわ じっし ・展示・拡大教科書や手話に関する学習会、白杖に関する体験学習の実施 てんじ かくだいきょうかしょ しゅわ かん がくしゅうかい ほんじょう かん たいけんがくしゅう じっし ・地域の障害者授産施設との交流の実施 ちいき しょうがいしゃ じゅさんしせつ こうりゅう じっし ・大阪府立支援学校の児童・生徒との居住地校交流 おおさかふりつ しえんがっこう じどうせいと きよじゅうち こうこうりゅう 	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりぐみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやくき 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しょかんか 所管課	しやくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんごほう 今後の方 こう回
(3) 合理的 配慮	こうほう 広報プロ モーション ン課	じょうほうはっしん 情報発信	こうほう 広報ひらかたやホーム ページをはじめ、さまざま な媒体を通して、障害や しょうがいしゃ かん けいはつかつどう 障害者に関する啓発活動 および取り組みなどの情報 を広く発信していきます。	こうほう 広報ひらかたを点字・音声で提供しました。また、おんせいよ あげ かのう たげんごた 広報ひらかたを点字・音声で提供しました。また、音声読み上げが可能な多言語 対応アプリを導入し、広報ひらかたを配信しました。 また、市ホームページのリニューアルに伴い、やさしい日本語に対応するととも に、引き続き、音声ガイドを設けるなどユニバーサルデザインの充実を図りまし た。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいまかく 障害企画 課			かくしゆしんせいかんしやう 各種申請勸奨のほか、こうしゅうかい (スポーツ講習、手話講習、ガイドヘルパー養成研 修など)の開催などについての周知を、広報ひらかたやホームページで行いまし た。 また、しゅわ げんご じょうれい かん とくしゅう きじ れいわ ねんど 3こうほう また、手話言語条例に関する特集記事を令和3年度「広報ひらかた」3月号に掲 載しました。令和4年度以降、さらなるろう者に対する理解促進と手話言語の周 知、普及、啓発に向けての取り組みを推進していきます。	かくじゅう とくみ 拡充:取組 を発展・拡 充させる
	じんけんせいさく 人権政策 室	かいさい イベントの開催	しょうがい しょうがいしゃ りかい 障害や障害者への理解を うながす けいはつ 促すため、啓発イベントや キャンペーンを開催しま す。	しょうがいしゃ りかい およ べんしき るか きかい 障害者への理解及び認識を深める機会として、 ○9月24日 人権文化セミナー 映画「靴ひも」 ○講座「生きること」 9月29日 常石勝義さんによる講座 「もう一度、大好きな馬と夢を掴みたい～高次脳機能障害を乗り越えて」 10月20日 玉井浩さんによる講座 「命の選別への警鐘～出生前遺伝学的検査と胎児の人権」 を開催しました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(3) 合理的 配慮	しょうがいまかく 障害企画 か 課	いふんのかい イベントの開催	障害や障害者への理解を促すため、啓発イベントやキャンペーンを開催します。	障害のある人が地域でいきいきと活動できる社会実現を目指すイベント「ほっこりひらかた2021」として12月4日に映画上映会・講演会のイベントを開催しました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの と 取り組み けいぞく 取組を継続 する

2 ちいき
地域との交流

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 地域 福祉 活動	けんこうふくし 健康福祉 せいさくか 政策課	ちいきふくしかつどう 地域福祉活動の ふんぱん 普及	市民が主体的に担う地域福祉活動を促進するため、多様な学習の機会や広報によって、地域福祉の考え方の普及を図るとともに、活動の紹介などをを行います。	「コロナ禍における地域の福祉活動について」をテーマに地域福祉セミナーを市ホームページ上で公開しました。 ① 講演「コロナ禍における地域の福祉活動について」 講師：上野谷加代子 氏(同志社大学 名誉教授) ② 事例報告「コロナ禍で工夫した活動について」 事例報告者：津田南校区、藤阪校区で福祉に関する活動をされている方など また、市民が主体となって実施する「校区福祉活動」をはじめとした、各種地域福祉活動の促進のため、社会福祉協議会との連携のもと、学習会・サロン活動等の開催を支援しました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの と 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	けんこうふくし 健康福祉 せいさくか 政策課	ちいきふくしかけいかく 「地域福祉計画」 の すいしん 推進	ひらかたしちいきふくしかけいかく 「枚方市地域福祉計画」 の ちやくじつ 着実な実施により、社 かいふくしきょうかいなごかんけいだ 会福祉協議会等関係団 んたいれんけい 体と連携し、市民による地 きふくしかつどう 域福祉活動の支援を充実 させます。	れいわ ねんど から れいわ ねんど 令和2年度から令和6年度までを計画期間とした「枚方市地域福祉計画(第4期)」 について、庁内委員会である枚方市地域福祉計画推進委員会において、と り 組 み の 進 捗 状 況 を 確 認 す る と も に、 枚 方 市 社 会 福 祉 審 議 会 地 域 福 祉 専 門 分 科 会 に お い て 審 議 い た だ き、 と り 組 み の 推 進 を 確 認 し ま し た。	げんじょういじ 現状維持: これまでの と 取り組み けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん かの 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 地域福祉活動	しょうがいまかく 障害企画 か 課	ちいまふくしけいかく 「地域福祉計画」 の すいしん 推進	「ひらかたしちいまふくしけいかく 枚方市地域福祉計画」 の ちやくじつ じっし 着実な実施により、社 かいふくしきようぎかい れんけい 会福祉協議会と連携し、 しみん ちいまふくしかつどう 市民による地域福祉活動 しえん じゅうじつ の支援を充実させます。	じようい けいかく ひらかたしちいまふくしけいかく せいごう ほか さくてい だい じ ひらか 上位計画である「枚方市地域福祉計画」と整合を図りつつ、策定された第3次枚方 たししやうがいしけいかく ひらかたししやうがいふくし けいかく だい き およ しょうがいじ けいかく さいてい 市障害者計画、枚方市障害福祉計画(第5期)及び障害児計画(第1期)を策定し ており、けいかくさいしゅうねんど しんちゆくじやうきやうとうのかくにん おこな て、計画最終年度の、進捗状況等の確認を行いました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	ちやうじゆ かの 長寿・介 いご ぼけん かの 護保険課			れいわ ねんど れいわ ねんど けいかくきかん こうれいしや ほけんふくし けいかく 令和3年度から令和5年度までを計画期間とした「ひらかた高齢者保健福祉計画 だい き かんけいかく けいかく かくと かの さいしん 21(第8期)」について、関係課において計画に掲げた各取り組みを推進しました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	けんこう 健康づく かいご り・介護 よぼう かの 予防課			いいきサロン等で、こうれいしや けんこう かいごよぼう かつどう こうく そつせん いきいきサロン等で、高齢者の健康づくり・介護予防活動を校区で率先し、その推 いしん とく けんこう けいせい 進に取り組む健康づくりサポーターを養成しました。 れいわ ねんど しんがた かんせんしやうかくだいぼうし かんてん ちゅうし 令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	ぼし ぼけん 母子保健 か 課			にんしんとどけで じ ぼけんし じよさんし ぜんすうめんせつそうだん おこな にんしん しゆっさん こそだ 妊娠届出時には保健師や助産師が全数面接相談を行い、妊娠・出産・子育てに かん そうだんおよ じやうほうていきやう おこな にんさんぶ およ にゅうようじ ほごしや た 関する相談及び情報提供を行いました。また、妊産婦及び乳幼児の保護者を対 いしやう にゅうようじ けんこうそうだん ぼし でんわ らいしよ そうだん ぼにゅうそうだん えいようそうだん 二べつ ほったつそうだん 象に、乳幼児健康相談・母子電話来所相談・母乳相談・栄養相談・個別発達相談 を じっし けいぞく しえん ひつよう ばあい ちくたんとう ぼけんし かにいほうもん 実施しました。継続支援を必要とする場合には、地区担当保健師が家庭訪問 とう おこな ひつよう おう かんけいきかん れんけい けいぞくてき しえん じっし 等を行い、必要に応じて関係機関と連携しながら継続的に支援を実施しました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

				れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん 所管課	けいかく 計画 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容 ないよう	こんご 今後の方 こう 向
(1) 地域福祉活動	けんこうふくし 健康福祉 せいさくか 政策課	ボランティア活動 せいせい 支援体制の整備	しゃかいふくしきぎょうかいはひらかたし 社会福祉協議会(枚方市 ボランティアセンター)等と れんけい 連携して、ボランティアが えんかつ 円滑に活動できるよう必 つよう 要な環境整備を図りま す。	しゃかいふくしきぎょうかいはひらかたし 社会福祉協議会(枚方市ボランティアセンター)でのボランティア体験プログラム や、またコロナ禍でも参加できるボランティア活動の工夫を行い、ボランティアと支 援を必要としている人をつなぎました。災害時に活動する災害ボランティアを募 り、ボランティアセンターに登録する事業も行いました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりにくみ 取り組み けいぞく 継続 する
	けんこうふくし 健康福祉 せいさくか 政策課	ボランティア体験 すいしん 推進	ひらかたししゃかいふくしきぎょうかいは 枚方市社会福祉協議会 (枚方市ボランティアセン ター)等と連携して、誰も が参加できるボランティア たいけんじぎょう 体験事業を推進します。	しゃかいふくしきぎょうかいはひらかたし 社会福祉協議会(枚方市ボランティアセンター)でのボランティア体験プログラム や、またコロナ禍でも参加できるボランティア活動の工夫を行い、ボランティアと支 援を必要としている人をつなぎました。災害時に活動する災害ボランティアを募 り、ボランティアセンターに登録する事業も行いました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりにくみ 取り組み けいぞく 継続 する
(2) 地域交流の推進と居場所づくり	しょうがいまかく 障害企画 か 課	こうりゆうきかい 交流機会の充実	じぎょうしやとう れんけい サービス事業者等と連携 し、障害の有無に関わら ず共に楽しめるレクリエー ションや文化・スポーツ活 動等の交流機会の充実を はか 図ります。	しょうがいしやとう はか 障害者等のを図るイベント「ジョイフルクリスマス会」を開催しました。「ふれあいス ポーツ交流会」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催できませんで した。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりにくみ 取り組み けいぞく 継続 する
	しょうがいまかく 障害企画 か 課	みぢか いばしょ 身近な居場所づく り	しょうがいしや にちじょうき きがる 障害者が日常的に、気軽 に立ち寄り時間を過ごせ る身近な交流拠点を、地 域活動支援センターとの れんけい 連携によって確保します。	れいわ ねん がつ なら ちいきかつどうしえん かた しょう かいせつ しない しょう 令和3年4月に新たに地域活動支援センターⅢ型1か所が開設され、市内9か所 の地域活動支援センターでは、障害者が日常的に気軽に立ち寄り、時間を過ご せるよう、様々な創作的活動や生産活動のメニューを用意し、多くの方が利用し ました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりにくみ 取り組み けいぞく 継続 する

2. 障害者(児)が安心してできるまちづくり

1 公共施設の整備等

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	と り く み 取 り 組 み	と り く み 内 容 取 り 組 み 内 容	こんご 今後の方 こう 向
(1) バリアフリーの整備	けんちくか 建築課	こうきようしせつ 公共施設の整備・ かいぜん 改善	だれ 誰もが利用しやすい公共 しせつ 施設をめざし、学校施設 しゆうしせつ ほか市有施設の整備・改 いしゆうさい 修に際し、多目的トイレ、 スロープ等を設置し、バリ アフリー化を進めます。	ひらかたし 枚方市総合文化芸術センター本館新築事業について、エレベーター及びスロー プ等の設置をするとともに、バリアフリートイレにオストメイト対応機器を整備しま した。 また、小学校及び中学校のトイレ改造工事(小学校22校、中学校10校)によ り、廊下とトイレの段差解消を図るとともに、便器及び手洗いの一部に手摺を設 置し、バリアフリートイレを小学校19校、中学校9校に設置しました。 今後も利用しやすい公共施設をめざし、整備に努めてまいります。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりにくみ けいぞく 取組を継続 する
	どうろ 道路公園 管理課	こうえん 公園の整備・改善	すべての利用者がより円 滑に利用できるよう公園 施設の更新、改修、撤去 等を行い、バリアフリー化 を順次進めます。	かいほうこうい 開発行為に伴う提供公園の計画段階において、バリアフリー化の指導を行い、令 和3年度は1公園の新設を行いました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりにくみ けいぞく 取組を継続 する
	とほくせいさく 土木政策 課	えきおよ 駅及び周辺のバリ アフリー化	障害者が安全で快適に移 動できるよう、「枚方市交 通バリアフリー基本構想」 等に基づき、今後も歩道 段差の解消、点字ブロッ クの敷設など歩道のバリ アフリー化を図るととも に、利便性や安全性の向 上促進を図るため関係機 関等との連絡調整を行 います。	とうじしや 当事者及び交通事業者等で構成する「枚方市バリアフリー推進協議会」を開催 し、令和3年4月施行のバリアフリー法の改正内容や、令和2年9月に施行の「大阪 府福祉のまちづくり条例」の改正内容について情報共有を図るとともに、バリアフ リー基本構想に基づく道路特定事業計画をはじめ、各事業者からのハード・ソフト 両面からの取り組み内容の報告を行い、当事者との意見交換を行いました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりにくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん 所管課	しやくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) バリアフリーの整備	どうろかせん 道路河川 せいびか 整備課	えきおよ しゅうへん 駅及び周辺のバリ アフリー化	しょうがいしゃ あんぜん かいてき いど 障害者が安全で快適に移 動できるよう、「枚方市交 通バリアフリー基本構想」 等に基づき、今後も歩道 段差の解消、点字ブロッ クの敷設など歩道のバリ アフリー化を図るとも に、利便性や安全性の向 上促進を図るため関係機 関等との連絡調整を行 います。	きんや だい ごうせん みやのさかえき しゅうへんちく 禁野第3号線(宮之阪駅周辺地区)において、令和3年度から令和4年度完成に向 けて障害者ならびに高齢者が安全かつ円滑に通行することを目的として歩道の 一部区間の拡幅や段差解消に加え、障害者誘導用ブロックの設置や横断防止柵 の設置等、現道のバリアフリー化整備工事を行いました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	どうろこうえん 道路公園 かんりか 管理課	ほどうかんきょう かいぜん 歩道環境の改善	しょうがいしゃ つうごう きまた 障害者の通行の妨げとな る放置自転車や違法駐 車、不法占用物を撤去す るとともに、市民啓発を進 めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車等の撤去及び市民啓発を行いました。 ・不法占用物の撤去及び市民啓発を行いました。 	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	こうつうたいさく 交通対策 か 課	こうつうあんぜんしせつ 交通安全施設の せっち 設置	どうろこうつうかんきょう かいぜん 道路交通環境の改善を図 るため、ガードレール、 カーブミラーなど交通安全 施設の整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市駅周辺を「めいわく駐車防止重点地域」とし、自動車および50cc超のバイクに対し、交通指導員によるめいわく駐車防止の啓発を行っています。 ・チャリン貼付車両台数2,883台 ・条例に基づき、鉄道駅周辺に放置している自転車、ミニバイク(50cc以下)の指導・警告・移送を行いました。 ・警告車両台数8,418台 移送台数681台 	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
こうつうたいさく 交通対策 か 課	こうつうあんぜんしせつ 交通安全施設の せっち 設置	どうろこうつうかんきょう かいぜん 道路交通環境の改善を図 るため、ガードレール、 カーブミラーなど交通安全 施設の整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全施設整備の実施 ・安全柵 1,399m ・カーブミラー 35基 ・区画線 20,724m(グリーンライン852mを含む) ・ポストコーン 34本 ・車止め 29か所 ・側溝暗渠化 37.6m ・歩道拡幅 128m 	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する	

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	とく 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
（１）バリアフリーの整備	しょうがいえん 障害支援 か 課	ふくしいそう 福祉移送サービス	しょうがいしゃ しゃかいさんか 障害者の社会参加の機 会を拡充するため、サー ビスの提供事業者の確保 と共同配車センターの充 実に努めます。	れいわ ねんど 令和3年度は、福祉移送サービスに12事業者が登録を行い、サービス提供を行 いました。共同配車センターについては、3事業者が登録を行いサービスを提供 することで、障害者の社会参加の機会を拡充に努めました。	げんじょうじ 現状維持： これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいまかく 障害企画 か 課	グループホームの 拡充・改善	しんきかいせつ ていいんぞうか 新規開設や、定員増加を 伴う整備を行う事業者へ 支援を行い、グループ ホームの整備促進を図り ます。	しんぎ かいせつ また ていいん ぞうか 市内にグループホームを新規に開設、又は定員を増加するための増設をする事 業を行う際に、枚方市グループホーム新規開設等整備補助金を交付することに より、グループホームの整備を図るとともに、障害者の地域移行促進を図りまし た。 交付実績：8事業所（新規開設）	げんじょうじ 現状維持： これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいえん 障害支援 か 課	じゅうたくかいぞうじよせい 住宅改造助成	じゅうたくしょうがいしゃ たい 重度障害者に対する住宅 改造費の一部助成につい ては、さらなる周知を図 り、利用の促進に努めま す。また、必要な対象者 がより活用しやすい要件 とするなど、制度拡充をめ ざします。	れいわ ねんど りよう じっせき けん 令和3年度の利用実績は19件でした。本制度を活用したことにより、障害者およ び介護者の日常生活での安全性・利便性の向上を図ることができました。	げんじょうじ 現状維持： これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する
しょうがいまかく 障害企画 か 課	す かん ぞう 住まいに関する相 談と情報提供	じゅうたく ふく せいかつぜんぱん 住宅を含めた生活全般に 関する相談を、市内の相 談支援事業者等で実施し ていくとともに、情報収集・ 提供に努めます。	れいわ ねん がつ なら かいせつ ぞうだん しえん 令和3年4月に新たに開設された相談支援センターを含む市内7か所の相談支 援センター及び、市内の相談支援事業者等で、住宅を含めた生活全般の相談を 実施しました。また、福祉事務所 障害福祉担当においても、情報収集・提供に努 めました。	げんじょうじ 現状維持： これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する	

ほいく りょういく きょういく じゅうじつ
2 保育・療育・教育の充実

		けいかく 計画	れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績		
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しょかんと 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	ぼしほけん 母子保健 か 課	にゅうようじけんこうしんさ 乳幼児健康診査 すいしん の推進	にゅうようじけんこうしんさ しんせいじ 乳幼児健康診査・新生児 ちようかくけんさ しやうがい 聴覚検査において、障害 の早期発見・早期対応に つと 努めます。また、健診時 やその後のフォローを通 じて保護者の育児支援に つと 努めます。	にゅうようじ たい かくじき けんこうしんさ じっし しつぺい しょうがい そうきはつけん そうまた 乳幼児に対して、各時期に健康診査を実施し、疾病や障害の早期発見・早期対 いおう はか ほごしゃ たい こそだ かん そうだん ほけんしどう じっし 応を図り、その保護者に対して子育てに関する相談・保健指導を実施しました。 れいわ ねんど しんがた かんせんしやういおう ちゆうし さい げつじしかけ 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対応のため中止していた、2歳6か月児歯科健 んこうしんさ さいかい 康診査を再開しました。 ほけん しょうだん けんこうしんさ げつじけんこうしんさ さい げつじけんこうしんさ 保健センターでの集団健康診査(4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、2 さい げつじしかけんこうしんさ さい げつじけんこうしんさ ふないりようきかん こべつけんこう 歳6か月児歯科健康診査、3歳6か月児健康診査)、府内医療機関での個別健康 しんさ にゅうじいつばんけんこうしんさ にゅうじこうきけんこうしんさ じっし けいかかんさつ ひつよう ば 診査(乳児一般健康診査、乳児後期健康診査)を実施し、経過観察が必要な場 あい しょうにしんけいかい じどうせいしんかいたう にじけんしんおよ しんりそうだんいん 合は、小児神経科医や児童精神科医等による二次健診及び心理相談員による こべつはつたつそうだん じっし べいせい ねん がつ さい げつじけんこうしんさ さい 個別発達相談を実施しました。平成28年4月より、1歳6か月児健康診査、2歳6 げつじしかけんこうしんさ さい じけんこうしんさ おおさかふさくせい ほった か月児歯科健康診査、3歳6か月児健康診査については、大阪府作成の「発達 つしよう そうきはつけん もんしんこうもくてびきしよ かいてい もんしんひょう しょう 障がいの早期発見のための問診項目手引書」にそって改訂した問診票を使用 ひつよう しえん ちようかくしょうがい そうきはつけん そうまりよういく もくてき し、必要な支援につなげています。また、聴覚障害の早期発見、早期療育を目的 しんせいじちようかくけんさ ひようじよせい おこな れいわ ねんど さい げつじ に、新生児聴覚検査の費用助成を行っています。令和3年度から、3歳6か月児 けんこうしんさ じゃくし しりよく いじよう そうき ほつけん がんかけんさき き 健康診査に、弱視などの視力の異常を早期に発見するために、眼科検査機器 (スポットビジョンスクリーナー)を導入しました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しやくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 保育・療育・教育の充実	ほしほけん 母子保健 課	そうきたいおう じゆうじつ 早期対応の充実	けんこうしんさとう けつか はつたつ 健康診査等の結果、発達 の経過観察が必要な子ど もと保護者に対し、発達 相談等において助言・指 導を行い、必要に応じて 療育や医療との連携を図 ります。また、乳幼児健康 診査事後指導事業(親子 教室)においては、小集 団での親子の保育を通じ て、保護者の育児支援 等、早期の対応に努めま す。NICU(新生児集中治 療室)から在宅生活へ移 行する身体障害児及び長 期療養児については、退 院前から医療機関と連携 し、退院後も円滑に医療・ 療育が受けられるよう支 援します。	けんこうしんさ けつか はつたつ けいかんさつ ひつよう こ 健康診査の結果、発達の経過観察が必要な子どもと保護者に対し、小児神経科 医や児童精神科医による二次健診及び心理相談員による個別発達相談、保健 師による家庭訪問を実施しました。 継続的な個別支援が必要と思われる子どもと保護者に対しては、乳幼児健康診 査事後指導事業(親子教室事業)を実施しました。通室は週に1回行うものとし、 子どもの年齢や発達の特徴からグループ分けを行っています。保育内容は各グ ループの特徴に応じて設定し、保護者の育児支援に努めました。 療育や医療が必要な場合には、医療機関やひらかた子ども発達支援センター等 へ紹介し、連携を図りました。 NICU(新生児集中治療室)から退院後、継続して医療的ケアが必要な子どもにつ いては、退院前から医療機関や訪問看護ステーション等と連携し、円滑に在宅生 活へ移行できるよう支援しました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	と りく 組み	と りく ないよう 組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	しやうがいしえん 障害支援 課	りやういく じゆうじつ 療育の充実	こべつりやういく ほごしゃしどうとう 個別療育、保護者指導 等、きめ細かな療育の提 携を行います。また「枚方市障害児等関係機関連絡会議」を概ね2カ月に1回参 加(実務者会議、代表者会議)し、参加関係機関と情報の共有を行います。教育 分野の障害児支援についてや、留守宅の巡回相談に関する知識の向上を図りま す。発達支援センターにおい ては、日々の生活を基盤 とした個別・集団的な療育 を実施するほか、医師の 指示の下、理学療法・作 業療法・言語聴覚療法を 用いて、個々の状況に応 じたリハビリテーションを 実施し療育の充実に努め ます。	けんしん しんがくとうしやうがいじ じやうきやう あ かんけいきかん 検診、進学等障害児の状況に合わせ、関係機関にてケース情報の引継ぎ等の連 携を行います。また「枚方市障害児等関係機関連絡会議」を概ね2カ月に1回参 加(実務者会議、代表者会議)し、参加関係機関と情報の共有を行います。教育 分野の障害児支援についてや、留守宅の巡回相談に関する知識の向上を図りま す。進路担当者と障害支援課、障害者相談支援センター等で進路相談会を開催 し、障害福祉制度の説明を行います。	げんじやういじ 現状維持: これまでの とりにくみ けいぞく 取組を継続 する
	しりつ 市立ひら かた子ど も発達支 援セン ター			しりつ 市立ひらかた子ども発達支援センターにおいて、通所児に対しては、障害児相談 支援でたてた計画を元に日々の生活を基盤とした個別・集団的な保育・療育を実 施するほか、医師の指示の下、理学療法、作業療法、言語聴覚療法を用いて、 個々の状況に応じたリハビリテーションを実施しました。	げんじやういじ 現状維持: これまでの とりにくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 保育・療育・教育の充実	いちりつ 市立ひら かた子ども 発達支 援セン ター	ちいきりょういく すいしん 地域療育の推進と ちいき れんけい 地域との連携	いちりつ 市立ひらかた子ども発達 支援センターにおいて は、発達上支援を必要と する子どもとその保護者 を対象に、「地域支援事 業」を実施し、遊びや集団 の場を通じて経験を広 げ、子どもの成長と保護 者の子ども理解の促進に 努めます。また、子どもの 発達や障害についての理 解を深め、成長や発達に 見通しをもってもらふこと を目的に、子育て講座を 実施します。母子保健課 において、在宅の障害児 に対して医師等専門職によ る相談・助言等を行うと もに、地域療育と連携を 図ります。	しりつ 市立ひらかた子ども発達支援センターにおいて、通所支援を利用していないが支援を必要とする親子に対し、遊びや集団の場を通じて経験を広げ、成長を促すことができるよう「地域子育て支援事業」を実施しました。また、子どもの発達や障害についての理解を深め、成長や発達に見通しをもってもらふことを目的に、子育て講座を開催しました。また、センター職員と公立保育所職員で、発達障害に対する研修やケースカンファレンスを行い、地域療育の推進に努めました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりにみ けいぞく 取組を継続 する
	ほしほけん 母子保健 課			しんたいしょうがいじ ちようきりょうようじ たい いし し か い し りがくりょうほうし さぎょうりょうほうし 身体障害児や長期療養児に対し、医師、歯科医師、理学療法士、作業療法士、 げんごちようかくし しんりそうだんいん ほけんし らいしよそうだん ほうもんしどう じっし 言語聴覚士、心理相談員、保健師による来所相談や訪問指導を実施しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりにみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん 所管課	しやくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 保 育・ 療 育・ 教 育の 充 実	ほしほけん 母子保健 課	かんけいきかん 関係機関との連携	ほしほけんか 母子保健課、療育機関、 ほいくじよ 保育所(園)、幼稚園等か ら しょうがっこう 小学校、小学校から中 うがっこう 学・高等学校、中学・高等 がっこう 学校から進学先・就職 くさき 先、就職先から福祉施設 へと発達障害のある児童 を を含め障害児童のニーズ に に応じた進路の選択が行 えるよう、庁内及び関係 きかん 機関との連携を図ります。 また、枚方市障害児等関 かんれんらくかいぎ 係機関連絡会議におい て、 しょうがい 障害のある児童及び しゅうへん その周辺の児童(健診等 じどうとう でフォロー児童等)並びに その家族が抱える様々な もんだい 問題に対して、情報交 かん 換、意見交換等を行い、 かんけいきかん 関係機関の連携を図りま す。 しえんどあい 支援度合いが高い障 うがいじ 害児や高次脳機能障害 児についても必要な情報 うきやうゆう 共有を図っていきます。	りょういくきかん 療育機関、保育所(園)、幼稚園、小学校等への就園・就学にあたり、ニーズに じた じた進路選択ができるよう、関係機関と連携を図りながら保護者支援に努めまし た。また、枚方市障害児等関係機関連絡会議においては、事務局メンバーとして かいぎ 会議の運営に携わりながら、関係機関の連携に努めました。	げんじようじ 現状維持: これまでの とりくみ 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 課			けんしん 検診、進学等障害児の状況に合わせ、関係機関にてケース情報の引継ぎ等の連 携 携を行います。また、進路担当者と障害支援課、障害者相談支援センター等で進 ろ 路相談会を開催し、障害福祉制度の説明を行います。	げんじようじ 現状維持: これまでの とりくみ 取組を継続 する
	こうりつ 公立保育 幼稚園課			しょうがっこうしゅうがくまえ 小学校就学前に、就学先の小学校教員が園所に訪問し、就学児の様子の把握 や職員からの聞き取りを行ったり、園所からも幼児の様子を学校側に伝えたりな ど 連携を図るとともに、就学する際に、保育所からは要録を、幼稚園からは抄本 を を学校に送付している。個別の支援計画を立てている幼児や、発達相談を利用し て ている幼児については、保護者を通じても小学校へ情報提供を行うなどの取り組 み みを行っている。	げんじようじ 現状維持: これまでの とりくみ 取組を継続 する
	しりつ 市立ひら かた子ど も発達支 援セン ター			ひらかたし 「枚方市障害児等関係機関連絡会議」において、各機関の現状や新たな取り組 み み等について情報共有し、連携につなげました。新型コロナウイルス感染拡大の えいさう 影響もあり、機関向け研修1回、実務者会議5回(書面での情報共有2回、対面 かいぎ の会議2回、オンラインでの会議1回)、代表者会議1回を実施しました。	げんじようじ 現状維持: これまでの とりくみ 取組を継続 する

				れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
施策の基 本目標	所管課	計画 施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 保育・療育・教育の充実	公立保育 幼稚園課	保育と就学前教育の充実	保育所(園)・幼稚園等において、「ともに生き、共に育つ」保育を実施するとともに、職員の研修や必要な人材の配置等により、障害のある子どもの支援体制の強化を図ります。	公立保育所(園)において、集団保育を必要とする障害児に、「共に生き、共に育つ」保育を推進しています。保育所入後のフォローとして、巡回相談・保育相談を実施しました。また、障害児保育に関わる職員の保育の質の向上を目指し、障害児保育研修会(公私立45ヶ所)、障害児保育担当保育士研修(公私立38ヶ所)をオンラインにより実施しました。 また、公立幼稚園においては、「ともに学び、ともに育つ」教育の充実を図るため、障害の状況に応じた適切な教育課程を計画的・系統的に編成し実施するとともに、支援を必要とする幼児が在籍する公立幼稚園(6園)に支援教育担当31名及び生活支援員21名を配置し、支援体制の充実を図りました。 また、支援教育に関する専門性を高め、障害のある子どもの指導・支援等、様々な課題に対応できる人材の育成に向けて、園内研修や支援会議等を定期的に実施しました。	現状維持: これまでの取り組みを継続する
	子ども相談課			子ども発達支援センターから依頼を受けて、発達状況を踏まえた指導や障害に対する助言を保育士に行うために、私立保育所(園)への訪問による保育相談を実施しました。実施頻度は、年2回、実施園11園、訪問延べ日数44日、実施延べ人数250人。	現状維持: これまでの取り組みを継続する
	教育研修課			各園に配置された特別支援加配員(幼稚園教諭免許もしくは保育士資格有の短時間雇用者)、生活支援員(子育てや介護経験がある短時間雇用者)を含めた教職員を対象とし学校園支援プログラム幼稚園研究支援研修オープン講座(全2回)にて支援教育についての研修を実施しました。1回目は支援の必要な子どもに対しての関わり方を各園で動画視聴・研究協議を行い、2回目は集合研修で全園の教職員が支援の必要な子どもとともに安心できる集団づくりについて講義・演習を行い、支援児が幼稚園終了までにどのような力をつけてほしいかなどを共有しました。また、支援教育コーディネーターを対象とした研修や支援教育研修については、市教委主催の教職員研修にて小中学校教員と意見交流することで就学後の支援教育について見通しをもつことができました。	現状維持: これまでの取り組みを継続する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 保育・療育・教育の充実	しやうがいきかく 障害企画 か 課	ほうかごとう 放課後等デイサー ビスの充実	しやうちゆうこうとうがっこう 小・中・高等学校に就学 する障害児の授業終了後 や学校の休業日に、生活 能力の向上のために必要 な訓練や支援を行い、療 育の充実を図ります。	れいわ ねんど 令和3年度は、10事業所が参入(合計66事業所)し、支給決定人数は1,020人、延べ利用日数は135,975日でした。	げんじよういじ 現状維持: これまでの 取り組みを継続 する
	しやうがいきかく 障害企画 か 課	にちちゆういちじしえんじぎやう 日中一時支援事 業の充実	りやう 利用しやすい運用に努 め、サービスの充実を図 ります。	れいわ ねんど 令和3年度は、2事業所が参入し、1事業所が撤退(合計20事業所)し、支給決定人数は603人、延べ利用日数は16,230日でした。	げんじよういじ 現状維持: これまでの 取り組みを継続 する
	ほうかご 放課後子 ども課	るすかていじどうかい 留守家庭児童会 室運営事業	へいせい ねんど 平成30年度より、第1学年 から6学年まで全学年の 児童の受け入れを行って います。障害のある児童 については、職員の研修 や職員の配置、また学校 との連携等により、保育 環境や支援の充実を図り ます。	るすかていじどうかいしつ 留守家庭児童会室では、障害のある児童等の受け入れにあたり、室全体の運営状況を踏まえて適切な人員を配置することで、放課後の遊び及び生活の場の提供に取り組みました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの 取り組みを継続 する

				れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん 所管課	けいかく 計画 しやくめい 施策名	とく 取り組み	とく 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 保育・療育・教育の充実	じどうせいと 児童生徒 しえんか 支援課	しょうがい 障害のある児童へ の教育の充実	しょう 小・中学校において、個 別の教育支援計画等を活 用し、障害のある児童等 のニーズに応じた適切な 教育を行えるように努め ます。また、教職員研修 の充実や、支援学校など のスタッフ及び専門家に よる巡回相談を活用しな がら、教育の充実を図っ ていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ○障害のある児童・生徒に対する支援の充実について ・支援教育コーディネーター支援充実事業(会計年度任用職員講師の配置) ・肢体不自由児介助員・学校看護師の配置 ・障害児機能回復訓練事業(理学療法士、言語聴覚士、作業療法士の派遣) ・セルフわらしべ乗馬体験事業 ○市教委主催の教職員研修の充実について ・支援教育研修 3回 ・支援教育コーディネーター研修 3回 ・通級指導実践研修 1回 ○専門家等による学校支援の充実について ・支援教育学校園支援事業(幼稚園、小・中学校への専門家等の派遣) ・大阪府立支援学校コーディネーターによる巡回相談 ・リーディングチーム(通級指導教室担当者)による巡回相談 	かくじゆう とり組み 拡充:取組 を発展・拡 充させる

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 保 育 ・ 療 育 ・ 教 育 の 充 実	きよういけんしゅう 教育研修 課	しょうがい じどうとう 障害のある児童等 への教育の充実	しょう ちゅうがっこう こべ 小・中学校において、個 別の教育支援計画等を活 用し、障害のある児童等 のニーズに応じた適切な 教育を行えるように努め ます。また、教職員研修 の充実や、支援学校など のスタッフ及び専門家に よる巡回相談を活用しな がら、教育の充実を図っ ていきます。	しきょういしゆさい きょうしよいんけんしゅうじゅうじゅう 〇市教委主催の教職員研修の充実について ・支援教育コーディネーター研修3回「特別ではない支援教育」、「ほんまの障 害って、どこにあるん?」、「支援教育コーディネーターの役割を振り返る」 ・支援教育研修3回「個別の指導計画の作成と活用」「支援学級における学級 経営と授業」、「支援を必要とする子への ICT を活用した授業」 ・中学校初任者研修(8)小学校初任者研修(9)「支援教育の理解と支援」 ・市費負担教員研修(6)「インクルーシブ教育の視点から学ぶ支援」 ・2年目小中学校教諭研修(4)「支援教育の最前線へ」～支援学校の実践に学 ぶ～ ・5年目小中学校教諭研修(2)「通常の学級におけるインクルーシブ教育」 ・小中学校10年経験者研修(4)「すべての子どもに「わかる・できる」を～インク ルーシブ教育の理念と実践～」	げんじよういじ 現状維持: これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 保育・療育・教育の充実	しょうがいまかく 障害企画 課	つうがくしえん じゆうじつ 通学支援の充実	ひとりでのつうがく こんなん じど 一人で通学が困難な児 童を対象として、保護者 の就労や病気療養等の やむを得ない理由がある 場合に通学ガイドヘル パーを派遣し、通学の支 援を行います。	ひとりでのつうがく こんなん で、しゅうらう びょうきりょうようとう 一人で通学が困難で、就労や病気療養等やむを得ない理由により、保護者 が一定期間通学につき添うことができない障害のある児童・生徒を対象に、通学 ガイドヘルパーを派遣する障害児通学支援事業を実施しました。令和3年度の支 給決定者は59名でした。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	じどうせいと 児童生徒 しえんか 支援課	そうだん じっし ほごしゃ 相談の実施と保護 者との連携	しょうがい こ ほんごしゃ 障害のある子どもの保護 者への相談を行うととも に、保護者と学校の連携 強化を図ります。	でんわ めんだん きょういそくだん じっし ほごしゃ そうだん うけ 電話や面談による教育相談を実施しました。また、保護者の相談を受るとともに、 必要に応じて、学校や関係機関との連携を図りました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	じどうせいと 児童生徒 しえんか 支援課	しんろしどう じゆうじつ 進路指導の充実	かんけいきかん れんけい きょうか 関係機関との連携を強化 しながら、卒業後の進路 選択の幅が広がるよう、 しんろしどう じゆうじつ ほか 進路指導の充実を図りま す。	がつ がつ ようちえん ほうくしやう ほうもん しゅうがくしどう じっし ・6月から10月にかけて、幼稚園、保育所等を訪問し、就学指導を実施しました。 しょうがい ようじ じどう せいと しんろ じゆうぶん じょうほう ていきょう しんろ しえ ・障害のある幼児、児童、生徒の進路について、十分な情報を提供し、進路の支 援に努めました。小中学校園で連携し、中学校校区で全体指導計画を作成し、夢や こころざしを したいでき みずか い かた かんが 志を持ち主体的に自らの生き方を考えさせることができました。 しょうがい ようじ・じどう・せいと りかい てきせつ しどう すいしん しえんがっこう か 関係機関との連携を図りました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

3 さいがいたいさく
災害対策

				れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく 取り組み内容	ごんご 今後の方 こう 向
(1) しぜん 災害	ききかんり 危機管理 たいさくすいしん 対策推進 か 課	ひなんこうどうようしえんしや 避難行動要支援 者の把握	ちいき ぼうさいけいかく もと 地域防災計画に基づき、 さいがいに ひつよう しえん じ 災害時に必要な支援を し 実 施するため、避難行動要 しえんしや めいぼ さくせい 支援者名簿を作成してい ます。この名簿に登録さ れた方うち、へいじようじ の内、平時時から のじょうほうていきよう どうい 情報提供に同意された かた うち、へいじようじ 方について、消防、警察、 みんせいいいいん じしゆ ぼうさい 民生委員、自主防災組織 等へ名簿情報を提供して います。また、登録を希望 どんしんせいにもとづき、きんきゆうれんらくさ された障害者等の申請に きとつじょうほうをどうくすさいがいじよう 基づき、緊急連絡先等の えんごしやひなんしえんしじようをじっしして 情報を登録する災害時要 援護者避難支援事業を実 施しています。	さいがいにひなんこうどうようしえんしやめいぼ さくせい はあく 災害時避難行動要支援者名簿を作成することにより把握しています。 めいぼとうろくたいしじようしや かいごほけん ぼうかいご にんていしや しんたいしやうがいしやてちよう 名簿登録対象者は、①介護保険の要介護3～5の認定者、②身体障害者手帳 1・2級を交付されている身体障害者(児)、③療育手帳Aを交付されている知的 障害者(児)、④精神障害者保健福祉手帳1級を交付されている精神障害者 (児)、⑤障害者総合支援法に基づくサービスを利用している難病者 平時には名簿搭載者のうち、名簿情報を避難支援等関係者へ提供することに同 意している対象者の名簿情報を、地域の民生委員等へ提供しており、地域の民 生委員等が平時に名簿情報を活用し、平時時の見守り、災害時の情報伝達、 あんびかくにん ひなんしえんとう やくだ 安否確認、避難支援等に役立てています。 ひなんしえんとう ひつよう はんい めいぼじょうほう ひなんしえんとうかんけいしや ていきよう 避難支援等に必要範囲において、名簿情報を避難支援等関係者へ提供するこ とに同意していない対象者についても避難支援等関係者に提供し、災害時の安 んびかくにん ひなんしえんとう かつよう 否確認、避難支援等に活用しました。	げんじじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	ちようじゆ か 長寿・介 いご ほけん か 護保険課			さいがいに ひなんこうどう しょうしえんしや めいぼ 災害時避難行動要支援者名簿システムを試行運用し、課題の洗い出しを行いま した。	げんじじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	けんこうふくし 健康福祉 せいさくか 政策課	ひなんこうどうようしえん 避難行動要支援 者の把握	ちいき ぼうさいけいかく もと 地域防災計画に基づき、 さいがいじ じつよう しえん じつ 災害時に必要な支援を 実施するため、避難行動要 支援者名簿を作成してい ます。この名簿に登録さ れた方内、平常時から の情報提供に同意され た方について、消防、警 察、民生委員、自主防 災組織等へ名簿情報を 提供しています。また、 登録を希望された障 害者等の申請に基づ き、緊急連絡先等の 情報を登録する災害 時要援護者避難支援 事業を実施しています。	れいわ ねんど どうにゆう ひなんこうどうようしえんしやめいぼかんり 令和2年度に導入した避難行動要支援者名簿管理システムにより、避難行動要 支援者名簿や災害時要援護者避難支援事業の名簿に登録された方の情報を把 握しています。 また、校区コミュニティ協議会や民生委員等の協力のもと、災害時要援護者避難 支援事業における「避難支援者」の設定についても引き続き取り組みました。	げんじようじ 現状維持： これまでの 取り組みを継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課			ひなん こうどう よう しえん しや しな いしやうがっこうく めいぼ せいび ほか 避難行動要支援者の市内小学校校区ごとの名簿を整備した他、災害情報カードの 配布にかえて、平成31年1月からヘルプカード(必要な支援や連絡先を記載)を 配布し、障害者の安否確認から避難誘導、避難所生活などへの配慮が可能とな るよう体制整備に取り組みました。	げんじようじ 現状維持： これまでの 取り組みを継続 する
	ほけんよぼうか 保健予防 課			していなんびやう かんじや じかん じんこう こきゆうき そうちやく きかん せつかい おこな 指定難病患者で24時間人工呼吸器装着または気管切開を行っている患者、人 工呼吸器装着児について避難行動要支援者として名簿を作成し情報を管理して います。6月、10月、3月に名簿の見直しを行い、対象者の確認を行いました。	げんじようじ 現状維持： これまでの 取り組みを継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	きき かんり 危機管理 たいさくすいしん 対策推進 か 課	ぼうさいいしき こうよう 防災意識の高揚と ちいき しえん た 地域での支援体 せい 制づくり	ぼうさい けいはつ おこな 防災について啓発を行う さいがいじ ひなん とともに、災害時の避難 ばしょ きんきゅうじ れ 場所や緊急時における連 んらくほうほう しゅうち はか 絡方法等の周知を図りま す。また、自然な形で支 ん う にちじよ 援を受けられるよう、日常 うてき かんけいづく ふく ちい 的な関係作りを含めた地 き しえんたいせい きょうか はか 域支援体制の強化を図り ます。	ぼうさい かん てまえこうぎ かいじっし ちいき ぼうさいいしき たか とく おこな 防災に関する出前講座を15回実施し、地域での防災意識を高める取り組みを行 いました。 また地域における自主防災訓練への支援を29回実施し日常的な関係作りを含め た地域支援体制の強化を図りました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	けんこうふくし 健康福祉 せいさくか 政策課			れいわ ねんど どうにゆう ひなんこうどうしえんしやめいぼかんり ひなんこうどうしえ 令和2年度に導入した避難行動要支援者名簿管理システムにより、避難行動要 んしやめいぼ さいがいじようえんごしや ひなんしえん じぎょう めいぼ どうさい かた じようほう は 支援者名簿や災害時要援護者避難支援事業の名簿に登載された方の情報を把 かく 握しています。 また、校区コミュニティ協議会や民生委員等の協力のもと、災害時要援護者避難 こうく さいぎょうかい みるせいいん どう きょうりよく さいがいじようえんごしやひなんしえん 支援事業における「避難支援者」の設定についても引き続き取り組みました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課			ひなん こうどう しょうしえんしや しなひ しょうがっこうく めいぼ せいび ほか さいがいじようほう 避難行動要支援者の市内小学校区ごとの名簿を整備した他、災害情報カードの はいふ へいせい ねん がつ ひつよう しえん れんらくさき きさい 配布にかえて、平成31年1月からヘルプカード(必要な支援や連絡先を記載)を はいふ しょうがいしや あんび かくにん ひなん ゆうどう ひなん しょうせいかつ はいりよ かのう 配布し、障害者の安否確認から避難誘導、避難所生活などへの配慮が可能とな るよう体制整備に取り組みました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
ちようじゆてん 長寿・介 かいごほけんか 護保険課			れいわ ねん がつ にち ひら ぼうず ひらかたしそごうぼうさいくねん さんか ひらかたし そ 令和3年9月4日の枚ひこ防 z2021(枚方市総合防災訓練)に参加し、枚方市総 ごうふくし ふくしひなんしよ かいせつ かだいなど あら だ おこな 合福祉センターでの福祉避難所開設における課題等の洗い出しを行いました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する	

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	しょうがいしえん 障害支援 か 課	ヘルプカードの配 いふ 布	きんきゅうじ さいがいに こま 緊急時や災害時、困った しゅうい はいりよ てだ ときに、周囲の配慮や手 す ねが 助けをお願いしやすくする 「ヘルプカード」を配付しま く す。	へいせい ねん が つ 平成31年1月から、災害情報カードに替えて、身体障害者手帳、療育手帳、精神 しょうがいしやほけんふくしてちよう まどぐち こうふ まい てちよう 障害者保健福祉手帳を窓口で交付する際に、手帳とともにヘルプカードを配布し ています。このカードに、支援が必要な事項を具体的に記載して所持していただく ことで、災害時の避難生活等においても、より適切な支援が行われるように取り 組みました。	げんじようじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいまかく 障害企画 か 課	きんきゅうつうほうそうち 緊急通報装置の せつち 設置	きんきゅうつうほうそうち たいよじぎよ 緊急通報装置の貸与事 う 業については、継続して じぎょう じつし 事業を実施し、ひとり暮らしなどの重度障害者の不安感の解消を図ります。	ひとり暮らしの身体障害者、知的障害者、精神障害者及び難病患者等に対して、 きんきゅうつうほう そうち たいよ きゅうびょういがいとう きんきゅうじ 緊急通報装置を貸与することにより、急病・災害等の緊急時における迅速かつ適 せつ たいおう かくほ 切な対応を確保するとともに、ひとり暮らしの不安解消を図りました。令和4年3月 31日現在、34名が緊急通報装置を利用中です。	げんじようじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいまかく 障害企画 か 課	かさいよほうてんけん 火災予防点検の すいしん 推進	ひとり暮らしなどの重度障 うがいせたい たいしよ かさ 害者世帯を対象とする火 いよほうてんけんじぎょう 災予防点検事業について は、今後も、対象世帯の はあく つと 把握に努めるとともに、利 うなが 用を促します。また、事業 しゅうち ほか の周知を図ります。	れいわ ねんど しょうぼう おおさか きよりよく え じぎょう じつし で 令和2年度まで、消防署、大阪ガスの協力を得て、事業を実施していましたが、電 んりよくじゆうか おおさか かさいよほうてんけんじぎょう しゅうりよう 力自由化により大阪ガスによる火災予防点検事業は終了となりました。なお、4 ねん かいぎ む かくじぎょうしや せつびていきほあんてんけん あんせん 年に1回義務づけられている各事業者のガス設備定期保安点検により、安全は たんぽ 担保されています。	しゅうりよう(か 終了(完 んりよう)じぎょう 了):事業 もくてき たっせい 目的を達成 とりくみ した取組

		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績			
しやくき 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	けいかく 計画 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	ききかんり 危機管理 たいさくすいしん 対策推進 か 課	さいがいじ 災害時における要 はいりよしや しえん ふく 慮者の支援と福 し ひなんじよ じゅうじつ 祉避難所の充実	ちいきぼうさいけいかく もと 地域防災計画に基づき、 しょうがいしや あんびかくにん ひなん 障害者の安否確認、避難 ゆうどう ひなんじよせいかつ 誘導、避難所生活におけ るはいりよ あんぜんたいさく 配慮などの安全対策を てきかく じっし たいせい 的に実施できる体制の せいび とく 整備に取り組みます。ま た、しょうがい とくせい おう た、障害の特性に応じた ひなんせいかつ ふくし ひ 避難生活ができる福祉避 なんじよ じゅうじつとう とく 難所の充実等に取り組み ます。	さいがいじひなんこうどうようしえんしやめいぼ さくせい 災害時避難行動要支援者名簿を作成することにより把握している。 めいぼとうろくたいしやうしや かいごほけん ようかいこ 名簿登録対象者は、①介護保険の要介護3～5の認定者、②身体障害者手帳 1・2級を交付されている身体障害者(児)、③療育手帳Aを交付されている知的 しょうがいしや じ せいしんしょうがいしやほけんふくしてちやう きゆう こうふ 障害者(児)、④精神障害者保健福祉手帳1級を交付されている精神障害者 (児)、⑤障害者総合支援法に基づくサービスを利用している難病患者。 さいがいじ ひなんしえんとう ひつよう はんい 災害時には避難支援等に必要範囲において、名簿情報を避難支援等関係者 へていきよう どうい たいしやうしや ひなんしえんとうかんけいしや ていきよう 提供することに同意していない対象者についても避難支援等関係者へ提供し、 さいがいじ あんびかくにん ひなんしえんとう かつよう 災害時の安否確認、避難支援等に活用する。	げんじやういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	けんこうふくし 健康福祉 たさいさくか 政策課			れいわ ねんど どうにゆう ひなんこうどうようしえんしやめいぼかんり 令和2年度に導入した避難行動要支援者名簿管理システムにより、避難行動要 んしやめいぼ さいがいじやうえんごしや ひなんしえん じぎよう めいぼ どうさい かつ 支援者名簿や災害時要援護者避難支援事業の名簿に登録された方の情報を把 あく 握しています。 また、ふくしひなんじよ えんかつ うんえい していふくしひなんじよ ぶつびん はいび と た、福祉避難所を円滑に運営するため、指定福祉避難所への物品の配備に取 り組みました。	げんじやういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課			いっぺいじやう しょうがい うち めいぼじやうほう ていきよう どうい 一定以上の障害のある内、名簿情報の提供に同意された方の名簿を、関係課と れんけい みんせいいいん じしゅほうさいそしき ひなんしえんとうかんけいしや ていきよう 連携して、民生委員や自主防災組織など避難支援等関係者に提供しています。 くわ めいぼじやうほう かんり さいがいじ かつよう かんけいか れんけい ひなんこう 加えて、名簿情報を管理し、災害時に活用するため、関係課と連携して、避難行 どうようしえんしやめいぼかんり どうにゆう うんよう かいし 動要支援者名簿管理システムを導入し、運用を開始しました。 また、ようえんごしや しないしやうがっこうごとの めいぼ せいび また、要援護者の市内小学校区ごとの名簿を整備するとともに、ヘルプカード(必 つよう しえん れんらくさき きさい はいふ しょうがいしや あんびかくにん ひなんゆうどう 要な支援や連絡先を記載)を配布することで、障害者の安否確認から避難誘導、 ひなんじよせいかつ はいりよ かのう たいせい せいび おこな 避難所生活などへの配慮が可能となる体制の整備を行っています。 また、ようえんごしや しないしやうがっこうごとの めいぼ せいび また、要援護者の市内小学校区ごとの名簿を整備するとともに、ヘルプカード(必 つよう しえん れんらくさき きさい はいふ しょうがいしや あんびかくにん ひなんゆうどう 要な支援や連絡先を記載)を配布することで、障害者の安否確認から避難誘導、 ひなんじよせいかつ はいりよ かのう たいせい せいび おこな 避難所生活などへの配慮が可能となる体制の整備を行いました。	げんじやういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	と り く み 取り組み	と り く み ないよう 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 自然 災害	ちようじゆてん 長寿・介 かいごほけんか 護保険課	さいがいに 災害時における要 はいりしよ 配慮者の支援と福 し 祉避難所の充実	ちいきぼうさいけいかく 地域防災計画に基づき、 しょうがいしゃ 障害者の安否確認、避難 ゆうしるべ 誘導、避難所生活におけ る はいりよ 配慮などの安全対策を てきかく 的確に実施できる体制の せいび 整備に取り組みます。ま た、しょうがい た、障害の特性に応じた ひなんせいかつ 避難生活ができる福祉避 しよ 難所の充実等に取り組み ます。	れいわ ねん がつ にち ひら 令和3年9月4日の枚ひこ防 z2021(枚方市総合防災訓練)において、避難行動 よう しえんしよ 要支援者安否確認の訓練を行いました。同日、枚方市総合福祉センターで福祉 ひなんじよ 避難所の開設訓練を行いました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ 取組を継続 する

		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績			
施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課		と り く み 取組み	と り く み ない よう 取組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	ほけんよぼうか 保健予防 課	なんびょうかんじや じゆうしやうし 難病患者・重症心 身障害児等への 災害時対応	じていなんびょうかんじや じかん 指定難病患者で24時間 じんこうこきゆうき そうちやく 人工呼吸器装着または気 管切開を行っている患者 とその家族、人工呼吸器 装着児とその家族に対 し、保健師が個別に、災 害時に対応できるよう準 備物や行動確認等の助 言を行います。	かんじやおよ かぞく たい かにいほうもん じっし びやうじやうどう じやうきよはあく おこな 患者及び家族に対して家庭訪問を実施し、病状等の状況把握を行うとともに、パ ンフレットを用いて災害時に対応できるよう準備物や行動確認を行いました。	げんじやういじ 現状維持: これまでの とりにくみ けいぞく 取組を継続 する
	ほし ほけん 母子保健 課			じんこうこきゆうき そうちやくじ など ようえんごじ いりようき かん ふく かんけいき かん れんけい 人工呼吸器装着児等の要援護児について、医療機関を含む関係機関と連携を 図りながら、把握に努めました。 じんこうこきゆうき そうちやくじ かぞく たい たんとうほけんし かにい ほうもん しやうきしゆ 人工呼吸器装着児とその家族に対して、担当保健師が家庭を訪問し、使用機種 やバッテリーの有無等災害時の準備、療養室に関する情報収集と災害時の行動 確認を実施しました。	げんじやういじ 現状維持: これまでの とりにくみ けいぞく 取組を継続 する
(2) 感染症対策	しょうがいきかく 障害企画 課	きんきゆうつうほうじ しゆわ 緊急通報時手話 通訳派遣事業(タ ブレット端末を利 用)	ちやうかくしやうがしや しんがた 聴覚障害者が新型コロナ ウィルス感染症の疑い等 の感染症対策のため、緊 急受診の際の手話通訳 者派遣について、タブレッ ト端末等を利用した遠隔 手話通訳を実施します。	つうじやう ちやうかく およ げんごきのうしやうがしや かぞく びやうきまた じこ きゆうきゆうしや 通常は、聴覚及び言語機能障害者とその家族が、病気又は事故により救急車を 要請した場合等の緊急通報時において、健聴者との意思疎通を円滑にする必要 があるときに緊急通報時手話通訳者を派遣します。しかしコロナ禍中、新型コ ロナウイルス感染症の疑い等あった場合は、通訳者と利用者の間感染症防止の 対策としてタブレット端末等を利用して遠隔手話通訳を行います。令和3年度の実 績報告は、ありません。	げんじやういじ 現状維持: これまでの とりにくみ けいぞく 取組を継続 する

3. 安心して生活できるサービスの確保と提供

1 地域生活への支援

		計画		令和3年度実績	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方向
(1) 福祉サービス提供体制の充実と質の向上	障害企画課	訪問系サービス	様々な障害特性に応じて必要なサービス提供ができるよう、事業者と連携して、介護者の人材の資質の向上に努めます。	令和3年度の居宅介護の支給決定者数は984人、利用実績は331,142時間、重度訪問介護の支給決定者数は25人、利用実績は100,377時間、同行援護の支給決定者数は176人、利用実績は28,914時間、行動援護の支給決定者数は9人、利用実績は4,259時間でした。 事業者連絡会と連携し、研修等を通じて介護人材の質の向上に取り組みました。	現状維持： これまでの取組を継続する
	障害企画課	短期入所サービス	事業所の新規開設や定員増等について事業者に働きかけます。また、緊急利用や医療ケアへの対応等様々なニーズに対応したサービスの確保に努めます。	令和3年度の支給決定人数は935人で、9,177日の短期入所の利用がありました。	現状維持： これまでの取組を継続する
	障害企画課	日中活動系サービス	利用者ニーズに応じたサービス提供の確保に努めるとともに、事業者の支援施策として既存事業者の施設整備や定員増のほか、新たな日中活動の場の確保とこれら担う人材の育成に努めます。	・日中活動系サービスの事業所へ通所する在宅の精神障害者等に対して交通費の一部を助成する、「枚方市障害者通所支援補助事業」を実施、通所サービスの活用を促しました。 給付実績：56事業所を利用する341人 ・就労継続支援B型の事業所の新規整備に係る、枚方市障害者施設等整備費補助金の交付申請が採択され、令和4年度中に開設予定です。	現状維持： これまでの取組を継続する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 福祉サービス提供体制の充実と質の向上	しょうがいしかく 障害企画 課	グループホーム	じぎょうしゃ たい しんきかいせ 事業者に対し、新規開設 つどう かか せいびほじょ うんえい 等に係る整備補助・運営 にかか しえん おこな に係る支援を行い、グ ループホームの整備促進 を図ります。また、世話人 の養成講座を実施し、人 材の確保・育成に努めま す。	<p>9月に「枚方市知的障害者グループホーム世話人養成研修」を催し、10名の方が受講され、7名が修了されました。</p> <p>市内にグループホームを新規に開設、又は定員を増加するための増設をする事業を行う際に、枚方市グループホーム新規開設等整備補助金を交付することにより、グループホームの整備を図るとともに、障害者の地域移行促進を図りました。</p> <p>交付実績：8事業所（新規開設） 10,500,000円</p> <p>生活支援員が共同生活援助を行う住居に常駐し、又は巡回することにより行う日常生活上の援助のあった利用者の障害程度に応じて、枚方市グループホーム運営費補助金を交付することにより、グループホームの運営安定化を図るとともに、障害福祉サービスの提供体制の確保と質の向上を図りました。</p> <p>交付実績：25事業所 30,980,400円</p> <p>今後、重度障害者が安心して生活できるようグループホームへの支援を行うとしていることから、重度障害者の受け入れの促進を図る取り組みが必要です。</p>	かくじゅう とりぐみ 拡充：取組 を発展・拡 充させる
	しょうがいしかく 障害企画 課	いどうしえん 移動支援	ぞうだい たようか りようしゃ 増大し多様化する利用者 ニーズに対応するため、 ガイドヘルパー養成研修 を実施する等、人材の確 保・育成に努めるととも に、利用対象者の範囲や 利用目的を見直すなど、 せいで りべんせいこうじょう 制度の利便性向上に努 めます。	<p>9月、3月に枚方市障害者ガイドヘルパー養成研修を実施し、63名に修了書を交付しました。また、移動支援の令和3年度の支給決定人数は2,017人、利用実績は173,665時間でした。</p>	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	とく 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 福祉サービス提供体制の充実と質の向上	しょうがいきかく 障害企画 か 課	ちいきかつどうしえん 地域活動支援セン ター	がた たよう I型は、多様なニーズに たいおう きよてん 対応するための拠点とし かくちいま しょうがいしやしえん て各地域の障害者支援の ちゆうしんてきやくわり きのう 中心的役割としての機能 を高めま。II型・III型 は、創作的活動、生産活 つどう こうりゆう ぼうとう しょうがいしや 動、交流の場等、障害者 にこちゆあつどう ば の日中活動の場として、 けいかくてき せいび そくしん 計画的に整備を促進しま す。	ちいきかつどうしえん 地域活動支援センター I型は6事業所、II型は1事業所、III型は2事業所が枚方 たしなひ ひらかたししょうがいしやちいきせいかつしえんじぎょう 市内にあり、枚方市障害者地域生活支援事業として8法人に運営を委託していま す。 がたじぎょう III型事業では、創作的活動、生産活動、社会との交流促進等を、II型事業では、 きのうくねん しやかいてきおうくねんどう くわ 機能訓練や社会適応訓練等が加わり、I型事業では、更に相談支援事業、社会 きばん れんけい ほか 基盤との連携を図るとともに、ボランティア育成や障害に対する理解促進のため けいはつじぎょうとう じっし の啓発事業等を実施しています。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	にちじょうせいかつようぐ ぼ 日常生活用具・補 装具	できき とりあつかいひんもく きゅうふ げ 適宜、取扱品目や給付限 んどがく みなお など しょ 度額を見直す等して、障 うがいしや せいかつじつたい み あ 害者の生活実態に見合っ たサービス提供に努めま す。	たし じょうよう かぐにん 他市の状況を確認しながら、取扱品目の見直しをするなどして、障害者の生活実 たい み あ 態に見合ったサービス提供に努めました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 障害福祉サービスの提供体制の確保と質の向上	しょうがいしえん 障害支援 か 課	こうれいしょうがいしや 高齢障害者の日 じようせいかつしえん 常生活支援	こうれいしょうがいしや 高齢障害者のサービス利 う 用は介護保険が優先です が、介護保険にはない障 害特性に由来する必要な サービスを提供します。ま た、障害固有のニーズを 考慮したサービス提供に つと 努めます。	しょうがいふくし 障害福祉サービス利用者 なか の中で介護保険サービスが優先される方をあらかじめ 把握した上で、事前に介護認定の促しをおこない、切れ目なくサービスが受けら れるように心がけ、また、介護保険サービスにない障害福祉サービス固有のもの や、障害特性によって障害福祉サービスでの提供が適切と判断した方について は、引き続き障害福祉サービスを提供しました。	げんじようじ 現状維持: これまでの とくみ 取組を継続 する
	ふくししどう 福祉指導 かんさか 監査課	ふくしじぎょうしや 福祉事業者の指 い 定・指導監督	していしょうがいふくし 指定障害福祉サービス事 う 業者等の指定・指導監督 等を行い、自立支援給付 たいしょう 対象サービス等の質の確 保及び自立支援給付の てきせい 適正化を図ります。	しよかん 所管の指定障害福祉サービス事業者等を対象とした指定時研修等を通じて、関 んけいほうらい 係法令や制度の趣旨・目的、自立支援給付費にかかる算定要件等について周知 しました。集団指導については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点か ら、ホームページに資料を毎年で掲載するとともに、事業者に周知実施しまし た。 また、個別の事業所に対して実施した実地指導も、新型コロナウイルス感染症拡 大防止の観点から、運営基準に違反している疑いがある等、特に指導または監 査が必要と認められる事業所を対象として行いました。	げんじようじ 現状維持: これまでの とくみ 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(2) 多 様なコ ミュニ ケーシ ョン	しょうがいきかくか 障害企画 課	かくしゆようせいこうざ 各種養成講座の じっし 実施	しゆわ ようやくひっき てんやく お 手話・要約筆記・点訳・音 んやろう こうしゅうかい じっし 訳等の講習会を実施し、 ほうしん すその ひろ 奉仕員の裾野を広げ、ま た、有資格者の拡大も目 ざし 指します。	[手話講習会] しゆわこうしゅうかい ・実施回数 午前の部40回 夜間の部40回 ・修了者数 36人(午前・夜間と合わせて) [手話ステップアップ講座] しゆわ こうざ ・実施回数 応用、通訳合わせて40回 ・修了者数 10人(応用から通訳コースまで) [点訳講習会] てんやくこうしゅうかい ・新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で参加者が集まらず、開催中止となり ました。 [音訳講習会] おんやくこうしゅうかい ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、声を出す実技を省略し6回講習 を 実施。8名が修了となりました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかくか 障害企画 課	しゆわつうやくしや ようやく 手話通訳者・要約 ひっきしやとう はけん 筆記者等の派遣	りようしや おう 利用者のニーズに応じ しゆわつうやくしや ようやくひっ て、手話通訳者・要約筆 きしやとう はけん 記者等を派遣します。ま た、登録手話通訳者のス キルアップを図るための げんにんけんしゅう じっし 現任研修を実施します。	・ようやくひっきつうやくじぎょう 要約筆記通訳事業 はけんけんすう けん はけんじかん じかん 派遣件数9件 派遣時間72時間 ・しゆわつうやくはけんじぎょう 手話通訳派遣事業 はけんけんすう けん はけんじかん じかん 派遣件数1,332件 派遣時間2,054.5時間 ・とうろくしゆわつうやくしやげんにんけんしゅう 登録手話通訳者現任研修 かいじっし し、さいだい にんが じゆこう 8回実施し、最大24人が受講されました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(2) 多 様 な コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	こうほう 広報プロ モーショ ン課	てんじ おんせい しゅわ 点字・音声・手話 など じょうほうていきよ 等による情報提供	こうほう ひらかたし ぎ 広報ひらかた、枚方市議 かいほう けんこうべんり 会報、ひらかた健康便利 ちょう しせいじょうほう てんじ 帳など市政情報を点字・ おんせい ていきよう 音声で提供します。 ししゅさいじぎょう しゅ 市主催事業について、手 おつうやくしゅ せつあ はたら 話通訳者の設置を働きか けます。 また、市のホームページ について、おんせい もう 音声ガイドを設 けるなど、ユニバーサル デザイン <small>じゅうじつ はか</small> の充実を図りま す。	こうほう てんじ・おんせい ていきよう 広報ひらかたを点字・音声で提供しました。また、おんせいよ あ かもう たげんごた いおう どうにゅう こうほう 対応アプリを導入し、広報ひらかたを配信しました。 また、市ホームページのリニューアルに伴い、やさしいにほんご たいおう に、ひ つづ おんせい もう 引き続き、音声ガイドを設けるなどユニバーサルデザインの充実を図りまし た。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	ほしほけんか 母子保健 課			けんこうべんりちょう てんやく らくおんぼん さくせい たいしょうしゅ ていきよう 「ひらかた健康便利帳」の点訳・録音盤を作成し、対象者へ提供しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(2) 多様な手法によるコミュニケーション支援	しょうがいきかく 障害企画 か 課	てんじ おんせい しゅわ 点字・音声・手話 による情報提供	こうほう ひらかたしぎかい 広報ひらかた、枚方市議 会報、ひらかた健康便利 会、ひらかた健康便利 帳など市政情報を点字・ 音声で提供します。 市主催事業について、手 話通訳者の設置を働きか けます。 また、市のホームページ について、音声ガイドを設 けるなど、ユニバーサル デザインの充実を図りま す。	れいわ3ねんど かいさい 令和3年度に開催した、枚方市社会福祉審議会障害福祉専門分科会及び自立 支援協議会全体会では、手話通訳者に加えて、拡大文字による資料の作成も行 なしました。 また、本市ホームページに新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる市長の 緊急メッセージを掲載した際には手話通訳者の動画を併せて掲載しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	ぎ じちょうさ 議事調査 か 課			ぜんねんど どうよう れいわ ねんど ひらかたし ぎかい ほう ないよう ぜんぶん けいさい てんじ こえ 前年度と同様に、令和3年度も枚方市議会報の内容を全文掲載した点字・声の 議会報を発行し、全ての希望者に配布するとともに、枚方市議会報と市議会ホー ムページで点字・声の議会報のPR文を掲載しました。また、声の議会報の音声 データについても引き続き市議会ホームページで公開しました。 手話通訳者の配置については、令和3年度は依頼がありませんでしたが、今後も 枚方市議会報や市議会ホームページで周知を図ります。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	じゅうどしょうがいしやにゆうい 重度障害者入院 時コミュニケーション 支援	じゅうどほうもんかいご こうどう 重度訪問介護および行動 支援等の支給決定を受け ており、コミュニケーション 支援が必要な重度の障害 者が入院した場合に、医 療機関との意思疎通を円 滑に図ることができるよう 支援します。	にゆういんじ しえん たいおう おお しょうがいしや あ 入院時のコミュニケーション支援のニーズに対応するため、より多くの障害者が安 定した入院生活を送ることができるよう、令和元年10月に本事業の要綱を改正 し、対象者を拡大しました。令和3年度の利用者は1名でした。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

2 緊急時の対応

		計画		令和3年度実績	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 障害ニ ーズに 応じた 対応	障害企画 課	緊急通報装置の 設置	緊急通報装置の貸与事 業については、継続して 事業を実施し、ひとり暮ら しなどの重度障害者の不 安感の解消を図ります。	ひとり暮らしの身体障害者、知的障害者、精神障害者及び難病患者等に対して、 緊急通報装置を貸与することにより、急病・災害等の緊急時における迅速かつ適 切な対応を確保するとともに、ひとり暮らしの不安解消を図りました。令和4年3月 31日現在、34名が緊急通報装置を利用中です。	現状維持： これまでの 取組を継続 する
	障害企画 課	地域生活支援拠 点の整備	相談、一人暮らしやグ ループホーム等の体験の 機会、緊急時の受入 れや対応等の機能を有し た地域生活支援拠点の 整備を進めます。	障害福祉計画(第6期)において、令和5年度末までの設置を目標と掲げている地 域生活支援拠点について、毎月開催の枚方市自立支援協議会幹事会及び、枚 方市自立支援協議会相談支援部会の場で、引き続き検討を行っているところ です。	拡充：取組 を発展・拡 充させる
	障害企画 課	ネット119緊急通 報システムの活用	聴覚、音声・言語又はそ しゃく機能の障害により、 音声による119番通報が 困難な方のために枚方寝 屋川消防組合等が提供 するネット119緊急通報シ ステムの周知と利用促進 に努めます。	ネット119緊急通報システムの利用を希望される障害のある方に申請手続きの案 内を行いました。また、ネット119緊急通報システムのメンテナンス等、利用者に影 響が出る事象が発生した場合に、枚方寝屋川消防組合と情報共有を行い、連携 を図りました。	現状維持： これまでの 取組を継続 する

3 保健・医療との連携

		計画		令和3年度実績	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方向
(1) 保健・医療との連携	健康づくり・介護予防課	健康相談事業の推進	生活習慣病や日常の健康管理などについて、保健師や管理栄養士などの専門職員による指導や助言を行います。	保健センターで月1回(定例)実施の他、必要に応じて随時実施しました。	現状維持: これまでの取組を継続する
	健康福祉総合相談課			健康福祉相談センター北部リーフで管理栄養士による相談を月1回(定例)実施。保健師による健康相談を随時実施しました。	現状維持: これまでの取組を継続する
	健康づくり・介護予防課	訪問指導事業の推進	保健師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・歯科衛生士などの保健センターの専門スタッフによる訪問指導事業に取り組みます。	必要に応じ、保健師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士等による訪問指導を実施しました。	現状維持: これまでの取組を継続する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と りく み 取り組み	と りく み ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保健・医療との連携	けんこう 健康づく り・介護 予防課	けんこうきょういじぎょう 健康教育事業の すいしん 推進	せいかつしゅうかびょう よぼう け 生活習慣病の予防や健 んこう ほ じ ぞうしん はか 康の保持・増進が図れる よう、健康に関する正しい ちしき ふきゅう けんこうきょうい 知識を普及する健康教育 じぎょう と く 事業に取り組みます。	ほけん 保健センターでの教室や、出前講座などの依頼により地域に出向いて、健康に関 する講座を実施しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	けんこう ふくし 健康福祉 そうごう そうだん 総合相談 か 課			でまえ こうざ いらい ちいき でむ けんこう かん こうざ じっし 出前講座などの依頼により地域に出向いて、健康に関する講座を実施しました。 また、市民からの依頼や保健師からの働きかけによって地域の集まりへ出向き、 けんこうきょうい かい じっし 健康教育を4回実施しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん かん 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保健・医療との連携	けんこう 健康づく り・介護 予防課	こうくう けんこう すいしん 口腔保健の推進	しょうがいしゃ じ にゆうしょ つうしょ 障害者(児)の入所・通所 施設で歯科健康診査や口 腔衛生指導が実施できる よう環境整備に努める 等、障害者・児の口腔ケ アや口腔機能の向上を図 ります。	しょうがいしゃ じ にゆうしょ つうしょ ・障害者(児)の入所・通所施設に出向き、歯科健康診査および、口腔衛生指導を 行いました。また、希望施設に対して、施設職員や通所・入所者に対し、健康教育 やはみがき指導を実施しました。 ・乳幼児健康診査に来所できない医療的ケア児等の障害児に、歯科健康診査の 機会を設けるため個別にて訪問歯科健康診査を実施しました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	ほけんよぼうか 保健予防 課	なんびょうかんじや りょうよう 難病患者の療養 支援	していなんびょうかんじや かぞく 指定難病患者とその家族 の在宅療養支援を目的に 保健師や専門職による相 談事業、訪問指導事業、 医療講演会、患者家族交 流会等を実施します。ま た、支援スタッフの難病に 関する知識・理解の促進 や支援技術の向上を図る ため、関係機関等に研修 会を実施します。	せんもんしよく 専門職による相談事業を26回実施、相談延べ件数は45件(うち訪問延べ件数は 33件)でした。保健師の訪問件数は186件でした。 訪問員相談育成事業として、在宅医療や介護に従事する専門職を対象に「難病 患者コミュニケーション支援の実際～支援の基本と実際を学び対応力を高めよう ～」というテーマで研修を開催し、48名が参加しました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 保健・医療との連携	ほけんいりよう 保健医療 課	せいしんしつかんかんじや 精神疾患患者に たい に対する相談体制の じゅうじつ 充実	せいしんしつかん ゆう 精神疾患を有する者、ま たは疑いがある者または その家族に対して、精神 科医や臨床心理士、精神 保健福祉士、保健師等に よる相談を実施します。精 神疾患の早期発見、早期 治療の推進等に向けた相 談を行います。	れいわ ねんど そうだんけんすう の けん 令和3年度の相談件数は延べ3,980件であり、うち訪問については延べ705件実 施しました。 せいしんしつかん そうき ほっけん そうき ちりよう もくてき そうだん 精神疾患の早期発見・早期治療を目的とした相談については、受療支援が延べ 170件(うち訪問60件)、精神科医師による診断・判定が延べ45件でした。 また、症状の再燃や悪化を防ぐための治療継続支援については、延べ102件の 相談を実施しました。 ほけんじよ じっし 保健所で実施している精神保健相談については、相談件数は前年度より増加し ており、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動への影響による雇用や暮ら し、うつやアルコール問題など健康問題の悪化による相談が断続的に続いていま す。 へいせい ねんど かいせつ また平成27年度より開設していた『こころの健康相談ダイヤル』(専用回線にて実 施)については、令和2年度末に保健所の直通電話に統一しましたが、こころの 健康相談の相談件数は延べ2,323件となっています。 ないよう そうきゆう せいしんほけん そうだん たいおう ひつよう 内容により早急に精神保健相談として対応することが必要なものについては、相 談者の同意を経て相談を受理し、早期発見・治療に向けた支援を開始することが できています。 こんご ひ つづ ほけんじよ そうだん しえん しゅうち はか そうき ほっけん ちりよう 今後も引き続き、保健所の相談支援について周知を図ると共に、早期発見・治療 に向けた支援を実施します。	げんじよういじ 現状維持: これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 保健・医療との連携	ほけんいりりょう 保健医療 か 課	ざいたくりりょうたいせい 在宅医療体制の じゆうじつ 充実	ひらかたしな い さん し かい いし かい 枚方市内の三師会(医師 し かい し かい やくざいし 会・歯科医師会・薬剤師 かい ほうもんかんご 会)や訪問看護ステーショ ンと連携し、在宅医療体 れんけい ざいたくりりょうた 制の充実に取り組みま いせい じゆうじつ と く す。	しんがた かんせんしやう えいきやう けんいき かくし 新型コロナウイルス感染症の影響により、圏域の各市における在宅医療及び介 いこれんけいすいしんじぎやう げんじやう きやうゆう ざいたくりりょう れんけい かか と く 護連携推進事業の現状を共有し、在宅医療の連携に係る取り組みについて意見 うかん おこ かいぎ きたかわうちざいたくりりょう こんわかい かいさい 交換を行う会議(「北河内在宅医療懇話会」)は開催されませんでした。今後も ざいたくりりょうていきまいせい と く げんじやう かだい こんご ざいたくりりょうていきまいせい 在宅医療提供体制について取り組みと現状の課題、今後の在宅医療提供体制 せいびとう かいぎなど おこな よてい の整備等について会議等を行う予定です。	げんじやうじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	しょうがいしやし か しんりりょう 障害者歯科診療	ひらかたし し かい し かい れんけい 枚方市歯科医師会と連携 しょうがいしやし か しんりりょう じゆ し障害者の歯科診療の受 しんきかい 診機会をさらに増やすな しょうがいしやし じゆうじつ つと ど診療体制の充実に努め ます。	ひらかたしきゆうじつしききゆうびりょうしんりりょうじよ ひらかたしし かい いかんない まいしゆうもくようび つき かい だよ 枚方市休日歯科急病診療所(枚方市医師会館内)で、毎週木曜日と月2回の土 う び り び じ しんさつ じっし しょうがいしやしと しかしんりりょう きかい かく 曜日の午後1時～5時に診察を実施し、よって障害者等の歯科診療の機会を確 ほ ほか 保を図りました。 れいわ ねんど の にんじゆしん 令和3年度:延べ679人受診	げんじやうじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保健・医療との連携	ほけんよぼうか 保健予防 課	ざいたくなんびょうかんにや 在宅難病患者の ちいきりりょう 地域医療	なんびょうかんにや かぞく あんしん 難病患者・家族が安心し て在宅療養ができる地域 づくりに取り組むために、難 病専門医、かかりつけ 医、地域の医療関係職種 等の連携を強化し、医療 ネットワークを構築しま す。	けんこういりりょう とし 健康医療都市ひらかたコンソーシアム連携事業「枚方市難病対策分野 難病ネッ トワーク部会 企画運営会議」を開催し、地域医療の課題などについて情報共有 や意見交換を行いました。実務者会議は開催を予定していましたが、新型コ ロナウイルス感染症の拡大状況に鑑み延期となりました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組みを継続 する
	しやうがいしえん 障害支援 課	びやういん ちいきいこ 病院からの地域移 行	ひらかたしじりつしえんきようぎかいせいし 枚方市自立支援協議会 んしやうがいしやちいきせいかつしえんぶか 精神障害者地域生活支 援部会において医療機関 等と連携し、退院促進に 取り組みます。	ひらかたしじりつしえんきようぎかいせいしんしやうがいしやちいきせいかつしえんぶかい れいねんじつし 枚方市自立支援協議会精神障害者地域生活支援部会が例年実施してきた枚方 市内の精神科病床のある協力医療機関に長期入院をしている患者等への訪問 面接について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、要支援者への 感染防止や医療機関における感染対策などの事情等を考慮し、令和2年度に引 き続き中止としました。一方で、感染状況を踏まえながら協議の場を設定し、事務 局会議を中心に、コロナ終息後を見据えた退院促進の取り組みについて検討を 行いました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組みを継続 する

4.自分らしい生き方を見つける・選ぶ

1 就労に向けた支援

		計画	令和3年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 就労に むけた支 援	障害支援 課	障害者合同就職 面接会	ハローワーク枚方や枚方 市障害者就業・生活支援 センターと連携して、「障 害者合同就職面接会」の 開催を通じて、一般企業 等への啓発にも努めま す。	一般企業への啓発については、ハローワーク枚方や枚方市障害者就業・生活支 援センターが中心となって進めるなど、雇用の拡大を目指した取り組みを行いま した。また、毎年1回開催している「障害者合同面接会」を、令和4年1月に開催 し、この面接会による就職が実現しました。	現状維持： これまでの 取組を継続 する
	障害支援 課	職場体験機会の 提供	本市での「庁舎内実習」を 実施して、障害のある人 の職業体験機会の提供 に取り組みます。	庁舎内実習では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、実習 生を受け入れました。また、一般企業等においても、ハローワーク枚方や枚方市 障害者就業・生活支援センターが中心となって実習の受け入れを呼びかけてお り、職業体験機会の拡大に取り組みました。	現状維持： これまでの 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しょかんか 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 就 労に むけ た 支 援	じんじか 人事課	チャレンジ雇用 障害のある人への 就労支援	平成29年度から実施して いる、障害のある人を一 定期間本市職員として雇 用する「チャレンジ雇用」 制度を、継続して実施して いきます。	障害のある方を臨時職員として1か月程度短期雇用する等の検証による実績を 踏まえ、将来の就労に向けた更なる支援として、平成29年度から「チャレンジ雇 用」を実施しています。令和3年度については、令和4年2月に募集を行いました が、応募者はいませんでした。令和4年度についても、引き続き募集を行います。	現状維持： これまでの 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 課			平成29年度からチャレンジ雇用を開始し、これまでに障害のある方を計16名、非 常勤職員として雇用して支援を行いました。体調不良などのため退職となった方 もありましたが、その中から、3名の方について民間企業への就職が実現しまし た。	現状維持： これまでの 取組を継続 する
	じんじか 人事課	ししょくいん 市職員への雇用	本市の障害者活躍推進 計画で目標に掲げる障害 者雇用率の実現に向け て、職員採用試験におい て障害者枠を設けるととも に、非常勤職員等の採用 についても同様に取り組 んでいきます。	令和3年度の障害者雇用率は市全体で2.91%であり、目標に掲げる3%が未達の 状態です。雇用率向上を見据え、障害者の社会進出、雇用促進を目的に、引き 続き、事務員の区分に障害者枠を設けて職員採用試験を実施し、令和4年4月に 2名を雇用しました。	現状維持： これまでの 取組を継続 する

<p>しょうがいまかく 障害企画 か 課</p>	<p>にっちゆあかつどうけい 日中活動系サービ ス</p>	<p>りようしゃ おう 利用者ニーズに応じた サービス提供の確保に努 めるとともに、既存事業所 の施設整備や定員増の ほか、新たな日中活動の 場の確保とこれを担う人 材の育成等事業者の支 援施策を講じます。</p>	<p>にっちゆあかつどうけい じぎょうしょ つうしょ ざいたく せいしんしょうがいしやなど たい こうつうひ ・日中活動系サービスの事業所へ通所する在宅の精神障害者等に対して交通費 いちぶ じよせい ひらかたししょうがいしやつうしょしえんほじよじぎょう じつし つうしょ の一部を助成する、「枚方市障害者通所支援補助事業」を実施、通所サービスの かつようをながし 活用を促しました。 きゆうふじつせき じぎょうしよをりよう にん 給付実績：56事業所を利用する341人 しゅうぞくしえん かつ じぎょうしよ しんきせいび かか ひらかたししょうがいしやせつなどせいびひほじよまん ・就労継続支援B型の事業所の新規整備に係る、枚方市障害者施設等整備費補 こうふしんせい さいたく れいわ ねんどちゆう かいせつよてい 助金の交付申請が採択され、令和4年度中に開設予定です。</p>	<p>げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する</p>
--------------------------------------	---------------------------------------	---	---	---

				れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 基 策の ほんもく 本目標	しよかん 所管課	けいかく 計画 しやくめい 施策名	とく 取り組み	とく 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(2) 就労に 関する 相談支 援	しょうがいしえん 障害支援 か 課	しゅうろうそうだんおよ 就労相談及び職 場定着支援	ひらかたしょうがいしやしゅうぎょう せいいかつ 枚方市障害者就業・生活 支援センターが軸となっ て、ハローワーク等の関 係機関や企業との連絡調 整を進めながら、就業、社 会生活上の相談支援や 職場定着のための支援に と 取り組みます。	ひらかたしょうがいしやしゅうぎょう・せいいかつしえん 枚方市障害者就業・生活支援センターが中心となつて、関係機関で構成する実務 担当者会議を月1回開催し、障害者の就労に向け議論を行うとともに、合同就職 面接会等、一般就労に向けた取り組みを実施しました。 また、枚方市自立支援協議会就労支援部会では市内の障害者事業所を対象に 連絡会を立ち上げ、就労支援員のスキルアップ向上を目的としたセミナーや事例 報告会を開催しました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する
(3) 工賃向 上に向け た支 援	しょうがいしえん 障害支援 か 課	しょうがいしや こうちん か 障害者の工賃改 善	「福祉バザー」、「ふれあい フェスティバル」や総合福祉 会館や市駅ふれあいコー ナー内の販売コーナー等、 授産品の販促活動に継続的 に 取り組んでいきます。ま た、ひらかた共同受注・優先 調達ネットワークの取り組み への支援を通じて、障害者 の工賃アップにつなげていき ます。	しょうがいしや しゅうろうしえん こうちん こうじょう もくてき ふくし 障害者の就労支援と工賃の向上を目的に「福祉バザー」、「ふれあいフェスティ バル」や「ラポールひらかた」、「ひらかた観光ステーション」内の販売コーナー、 「菅原生涯学習センター」、「ラポールひらかた」内の喫茶コーナーにて授産品や 飲食物の販売促進を継続的に実施しています。 また、就労支援事務局連絡において、複数の事業所が共同受注・優先調達ワー キングチームに参加し、共同受注センターについて研究を行った結果、令和元年 度から「ひらかた共同受注・優先調達ネットワーク」を立ち上げ、活動を行っていま す。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(3) 工賃向上に向けた支援	しょうがいしえん 障害支援 か 課	ゆうせんちやうたつほうしん 優先調達方針に もと 基づく障害者就労 施設等からの物品 うしせつとう 等の調達	ゆうせんちやうたつほうしん 優先調達方針に基づき、 しょうがいしやゆうろうしせつとう 障害者就労施設等からの ぶつびんとう 物品等の調達を促進しま す。	へいせい ねん がつ 平成25年4月より障害者優先調達推進法が施行されたことを受け、市役所をはじめ、市内企業、一般市民等が発注可能な障害福祉サービス事業所で取り扱っている物品やサービスを掲載した商品カタログを作成し、各部署に購入を呼びかけることで、障害者就労施設等の受注機会の増大を図りました。なお、カタログについては、これまでに2度、改訂を行っています。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ 取組を継続 する

2 社会参加と多様な学習への支援

		計画		令和3年度実績	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 生涯学習の 推進	文化生涯 学習課	社会参加・自立を 助ける学習活動	生涯学習事業など、様々な 場面で学習機会を提供 するとともに、障害者の主 体的な学習を支援しま す。	各生涯学習市民センターにおいて、障害者(関係)団体に対し、施設の早期予約 受付、利用料減免、優先利用可の部屋を設けることなどにより、障害者の活動の 機会を広く提供しました。 また、点字版のセンター案内のリーフレットを設置しています。	現状維持: これまでの 取り組みを継続 する
	生涯教育政策 課			令和4年1月10日に開催した枚方市成人祭「はたちのつどい」において、聴覚障 害者への支援として市長および議長からのビデオレターに字幕スーパーを挿入 し、式典会場やホームページで放映しました。また、希望に応じて手話通訳者を 配置できる体制をとるとともに、視覚障害者に対しても全19会場に点字版のプロ グラムを準備しました。 社会教育事業として行う各講座においても、希望する聴覚障害者に対して手話通 訳者や要約筆記者を確保する体制をとりました。	現状維持: これまでの 取り組みを継続 する
(2) 文化・芸術 活動への 支援	文化生涯 学習課	文化・芸術活動の 支援	障害者の生きがいづくり と、様々な世代にわたって 交流を深めていけるよう、 各種の文化・芸術活動を 支援します。	生涯学習市民センターのロビー等のスペースに、創作活動の発表の場を設け、 障害者(関係)団体を含め、広く市民による展示・発表の機会の場を提供していま す。	現状維持: これまでの 取り組みを継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん 所管課	しやくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(2) 文化・ 芸術活動への支援	ちゆうおうとしよか 中央図書館	としよかん 図書館サービス	だいかつじとしよ てんじ ろくおん 大活字図書、点字・録音 資料、手話・字幕付き映 像資料を充実し、対面読 書サービスや手話で楽し むおはなし会等バリアフ リー行事の実施やICT機 器を活用したサービスの 検討等を行います。	だいかつじとしよ さつこうにゆう ろくおんとしよ 大活字図書を147冊購入、録音図書（デージー図書）を40タイトル製作・購入す るなど、資料の充実を図りました。また、対面読書を全館で113回（内遠隔対 面読書は62回）実施しました。行事は、中央図書館では「手話でたのしむおは なし会」を11回開催（参加者延べ98人）。「手話ブックトーク」を2回開催（参加 者36人）。学習障害講演会「読み書き障害と読書の役割」を1回開催（参加者31 人）。バリアフリー映画上映会は中央図書館で「さよならくちびる」を2回（参加者63 人）、牧野図書館「武士の家計簿」を1回（参加者48人）開催しました。 ※新型コロナウイルス感染防止のため、換気や飛沫防止策が取れない分館 での対面読書を中止しました。	げんじようじ 現状維持： これまでの 取り組みを継続 する
(3) シ ョ ン 活 動 へ の 支 援	しやうがいまかく 障害企画 課	スポーツ・レクリ エーション活動の 推進	ふうせん たつきゆう 風船バレーや卓球等のス ポーツ事業を定期的に実 施し、障害者にスポーツを 楽しむ機会を提供すると ともに、卓球、ポッチャ、フ ライングディスク等、利用 者ニーズの高い種目を選 んで、スポーツ・レクリ エーション活動の推進	れいわ ねんど ひらかたし かんせんほうし 令和3年度まで枚方市スポーツ連絡会に委託し、卓球教室、ポッチャを実施し、 令和3年度は877人の方が参加されました。令和4年度は枚方市障害者スポーツ 協会に委託し、実施するスポーツの種目を増やし、多くの障害者にスポーツを楽 しむ機会を提供する。	かくじゆう とりくみ 拡充：取組 を発展・拡 充させる

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	こんご ほう 今後の方 こう 向
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と りく 組み	と りく 組み 内容	
(3) スポーツ・レクリエーション活動への支援	スポーツ 振興課	スポーツ・レクリエーション活動の推進	ふうせん たつきゆう 風船バレーや卓球等のスポーツ事業を定期的に実施し、障害者にスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、卓球、ポッチャ、フライングディスク等、利用者ニーズの高い種目を選んで、スポーツ・レクリエーション教室を開催します。	そうごうたいいくかん なぎさしみんたいいくかん およ いか 総合体育館、渚市民体育館及び伊加賀スポーツセンターにおいて、障害者スポーツの日を設け、障害者スポーツの普及の支援を行いました。渚市民体育館のスクエア事業に関しては、新型コロナウイルスの影響もあり「障害者スポーツDAY」の参加者が来られなくなりました。また、令和3年度については、令和2年度に新型コロナウイルスの影響で中止になった誰もが一緒にスポーツできる事業の車いすバスケットボール体験を2回開催しました。 ・障害者スポーツスクエア [総合体育館] 延べ195人 月1回開催 (5・6月中止) [伊加賀体育館] 延べ146人 月1回開催 (5・6・9月中止) ・障害者ふれあいスポーツDAY [渚市民体育館] 延べ0人 月1回 (4・5月中止) ・車いすバスケットボール体験 車いすバスケットボール体験会11月開催 参加者18人 車いすバスケットボール体験会12月開催 参加者20人	げんじょういじ 現状維持: これまでのとりにくみ けいぞく 取組を継続する
	スポーツ 振興課	障害者スポーツ活動への支援の実	しりつ そうごう 市立総合スポーツセンター等での、障害者のスポーツ環境の整備や、障害者のレクリエーション活動等の支援に取り組みます。	たいおつ せつち あんしん りよう オストメイト対応トイレを設置し、安心して利用できる環境を整備しています。 そうごうたいいくかん だんじょけんよう 総合体育館: 男女兼用1か所 りくじょうきょうぎじょう だんじょけんよう 陸上競技場: 男女兼用1か所 いかが たいいくかん だんし じよ じよ 伊加賀体育館: 男子1か所 女子1か所 なぎさしみんたいいくかん だんじょけんよう 渚市民体育館: 男女兼用1か所	げんじょういじ 現状維持: これまでのとりにくみ けいぞく 取組を継続する

3 あたら せいかつようしき じっせん
新しい生活様式の実践

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 多様な変化に対応した社会参加	すいしん DX推進 か 課	えんかくしゆわ つうやく た 遠隔手話通訳対 応(タブレット端末 を 利用)	えんかく たんまつ 遠隔によるタブレット端末 を利用した手話通訳を、 れいわ ねんど ししよ およ 令和2年度は3支所及び けんこう ふくし そうごう そうなん たんとう 健康福祉総合相談担当 まどぐち じつし きんきゆうじ 窓口で実施。また緊急時 の対応においても実施。 こんご 今後は、個人派遣につい ても対応できるよう整備を おこな 行う。	さくねんど ひ つづ しょうがいふくし たんとう しみんしつ ほんかん かい ししよ こくみん けんこう ほけん 昨年度に引き続き、障害福祉担当、市民室(本館1階、3支所)、国民健康保健 室、中央図書館に設置し、運用を行った。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいまかく 障害企画 か 課			れいわ ねん がつ にち しんきぎょう えんかくしゆわつうやく はじ 令和3年4月1日から新規事業として遠隔手話通訳サービスを始めました。 ■遠隔手話通訳サービス れいわ ねんど りようしゃ すう めい ・令和3年度の利用者数: 60名 りよう けんすう けん ・利用件数: 608件	げんじよういじ 現状維持: これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(3) 先進技術による支援ツールの活用	DX推進課	行政サービスの電子申請に向けた取り組み	電子申請により、市民の利便性の向上を図るため、対応可能な業務から順次対応していきます。	令和3年6月より、市のような様々な手続きのオンライン化を図るため、汎用的電子申請サービスを導入し、厳格な本人確認等を必要としない軽易な手続を中心に、全庁での活用を進めました。 本サービスの利用に際しては、視覚障害を持つ職員の意見も参考に、読み上げ等がスムーズに行えるよう、サービス提供事業者へ要望し、改善を図りました。 また、国の電子申請サービスである「ぴったりサービス」や来庁しての手続きを事前予約する「来庁予約システム」といった既存の取り組みを合わせ、全庁で98の手続きをオンライン化(令和4年3月11日時点)しました。	拡充: 取組を発展・拡充させる

5. 身近な相談窓口の充実ときめ細やかな情報提供

1 相談・支援体制の充実

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきくのき 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(1) 相談・支援体制の充実ときめ細やかな情報提供	しょうがいきかく 障害企画 か 課	しょうがいしゃ 障害者の相談支 んたいせい 援体制	しょうがいしゃ 障害者からの相談に ひつよう じ、必要な情報提供およ び助言、サービスの利用 じよげん りよう など関係機関と連携しつ つ、地域の社会資源を活 ちいき しゃかいしげん か 用し必要な援助を行いま つよう ひつよう えんじよ おこな す。また、センター間の連 んけい きのうきようか おこな 携の機能強化を行い、よ せんもんてき たいおう り専門的な対応ができる しょうだんしえん ように、相談支援センター たいせい じゅうじつ はか の体制の充実を図りま す。	あらたに 新たに相談支援センター機能を併せ持つ地域活動支援センターⅢ型1か所が、令 いわ 和3年4月に開設となり、7法人を障害者地域生活支援事業における相談支援セ んたーとし、相談支援事業を委託しています。福祉サービスの利用援助、社会資 んをかつよう 源を活用するための援助や支援等を委託内容とし、そのうち2法人はピアカウ ンセリングを行うなど、利用を希望する障害者に対応しています。また、そのうちの 3法人については、基幹相談支援センターとして位置付け、身体・知的・精神障害 者等に対応した総合的な相談支援の窓口の設置や、特定相談支援事業所及び 一般相談支援事業所が困難と感じる事例への後方支援などを行うことで、セン ター間の連携の機能強化を行い、より専門的な対応ができるよう相談支援セン ターの体制の充実に努めました。	こんご 現状維持： これまでの とりにく けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	ひらかたしじりつしえん 枚方市自立支援 きようぎかい 協議会	しょうだんしえん 相談支援センターをはじ ちいき め、地域の関係機関が集 まり、障害者が自立した しょうがいしゃ じりつ ちいきせいかつ いとな うえ ひつよう 地域生活を営む上で必要 となるサービス基盤や人 きばん じん ざいしゃかいしげん か くほ 材社会資源の確保などに けんとう おこな ついて検討を行います。	まいづき、 毎月、枚方市自立支援協議会幹事会を開催し、各部会からの報告や今後のサー ビス基盤整備の方向性等について協議を行いました。また毎年度開催することと している枚方市自立支援協議会全体会を開催し、相談支援センターの実績報告 等について、ひょうか けんしやう おこな 評価・検証を行いました。	こんご 現状維持： これまでの とりにく けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん 所管課	しやくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
（１）相 談・支 援体 制の充 実と きめ 細 やかな 情 報 提 供	しょうがいしえん 障害支援 課	びょういん にゆうしよせつ 病院、入所施設か ら地域移行	たいしよ しょうがいしゃ 退院・退所した障害者が ちいさき じりつ せいかつ おく 地域で自立した生活を送 れるよう、関係機関や相 談支援センターとともに、 ひつよう そうだん しえん おこな 必要な相談や支援を行え る体制づくりを進めます。	ひらかたし じりつ しえん きょうぎかい せんもん ぶんかかい せいしんしょうがいしやくちいき せいかつしえん ぶかい せつ 枚方市自立支援協議会の専門分科会として精神障害者地域生活支援部会を設 置し、関係機関の協力のもと、枚方市内精神科病院の社会的入院患者に対し ほうもんめんせつとう じつし ちいさき いこう そくしん おこな 訪問面接等を実施し、地域移行の促進を行っています。	げんじよういじ 現状維持： これまでの 取り組みを継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 課	ちいきていちやくしえん 地域定着支援	ちいさき いこうご 地域移行後や「ひきこも り」等、地域との接点があ ない障害者に対し、地域 でいきいきと安定した生 活を営めるよう訪問など する中で、必要な支援を ちいさき しゃかいしげん かつよう 地域の社会資源を活用し ながら、関係機関と連携し すす 進めます。	あんしん ちいき せいかつ いとな 安心して地域生活が営めるよう、関係機関と連携し、必要な情報交換を行いなが ら支援を行っています。	げんじよういじ 現状維持： これまでの 取り組みを継続 する
	しょうがいまかく 障害企画 課	ちいきせいいかつしえんきよてん 地域生活支援拠点 の整備	そうだん ひとりぐ 相談、一人暮らしやグ ループホーム等の体験の きかい ば きんきゆうじ うけい 機会の場、緊急時の受入 れや対応等の機能を有し た地域生活支援拠点の せいび すす 整備を進めます。	しょうがいふくしけいかく だい き 障害福祉計画（第6期）において、令和5年度末までの設置を目標と掲げている地 域生活支援拠点について、毎月開催の枚方市自立支援協議会幹事会及び、枚 方市自立支援協議会相談支援部会の場で、引き続き検討を行っているところで す。	かくじゆう とりくみ 拡充：取組 を発展・拡 充させる

2 関係機関との連携による支援の充実

				令和3年度実績	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 関係機関との連携による支援の充実	障害企画 課	多様な手法による わかりやすい情報 提供	障害者の福祉サービス制 度利用を促進するため に、サービスの内容、手 続きの方法等を掲載した パンフレットやポスター、 広報ひらかた、ホーム ページ、窓口での対応な どによってわかりやすい 情報提供に努めます。	障害者手帳を交付する際、障害者に係る福祉制度や手続き方法を掲載した冊子「福祉のてびき」を窓口で配布し、内容を説明しました。 また、市内各支所及び障害者相談支援センター7か所への冊子の設置や枚方市ホームページへの冊子データの掲載をすることにより、福祉サービス制度の周知に努めました。	現状維持： これまでの 取り組み、けいぞく 取組を継続 する
	障害支援 課	医療的ケア児等支 援連絡会議	連絡会議を通じ、医療的 ケア児の在宅生活を支援 する関係機関による意見 交換や情報提供を図りま す。	医療的ケア児等支援連絡会議を開催し、医療的ケア児に関する情報共有を図るとともに、関係機関から報告のあった支援の現場での課題について意見交換を実施しました。	現状維持： これまでの 取り組み、けいぞく 取組を継続 する